



<harmony/>

ハ - モ ニ -

原作 = 伊藤計劃 /

Project Itoh

漫画 = 三卷文

<harmony/> Project Itoh
Minato Fumi

2

<harmony/>

ハ - モ ニ -

<harmony/> Project Itoh

Minato Fumi

原作＝伊藤計劃／Project Itoh

漫画＝三卷文

T A B L E O F C O N T E N T S

<harmony/> Project Itoh
Minato Fumi

<part:number=02:title=A Warm Place/>

11
3

12
25

13
39

14
59

<part:number=03:title=Me, I'm Not/>

15
79

16
107

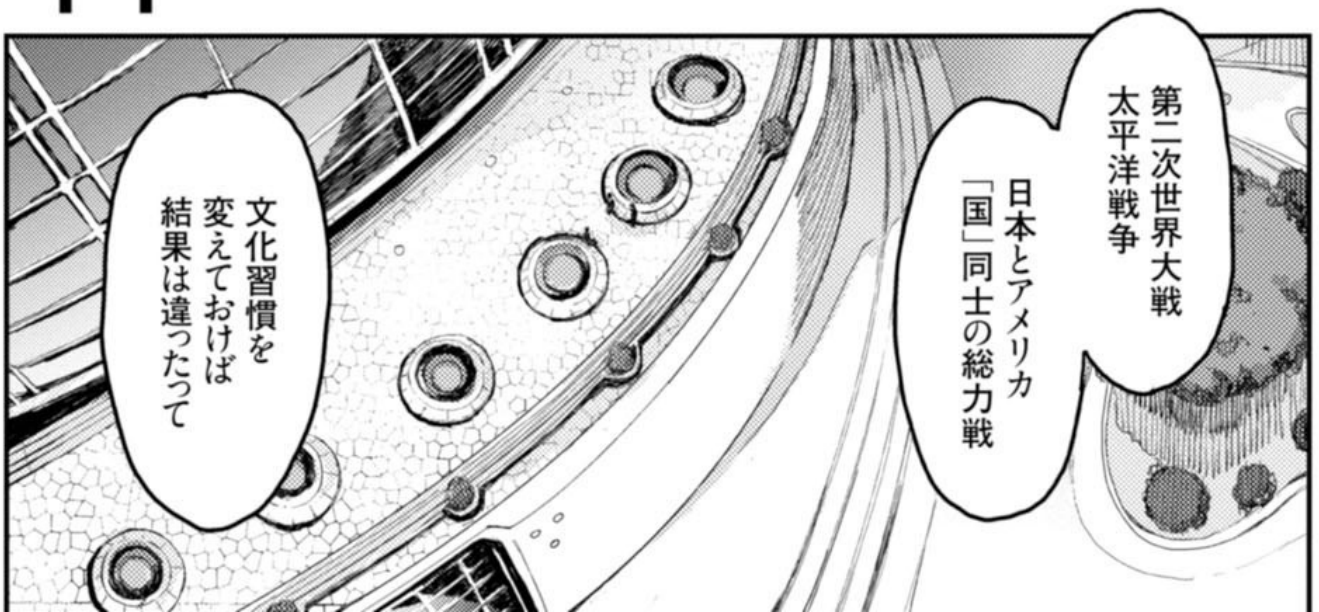
17
121

18
137



<part:number=02:title=A Warm Place/>

11





ほっぺに
ついてるよ
ご飯粒

ミアハ



アメリカ：
合衆国だったっけ
日本ももう
あつてないような
ものだけど

そう
アメリカが（大災禍）で
ばらばらになる前の話



ミアハのお弁当って
独特だよ
ご飯ばかりだし
お弁当箱もすっごく
大きいの

ん……
あら
そう





温暖な場所じゃ
非効率的ね

褐色脂肪細胞が
多くて
すぐ熱に変えて
しまうから

それにこのくらい
食べないと
頭が回らないの



ご飯
大好きなの

うん



というか
自分で
作ってるの

そう

じゃあ
献立なんかも
自分で考えて
……



いつからだっけ
変わっちゃった

小さい頃はうちも
母さんが自分で
献立を考えてくれ
てただけどな



外注外注ね

それこそ
材料の発注から
調理の仕方



すごい

お父さんやお母さんに
作ってもらってた
いったって
ライフデザイナーの
レシピ通りなのに



トアン
あーん



欲しそう
かなって
う
ごめん
キアンはもう
お腹いっぱいな
感じね
おいしい
なにこれ



なに
なんで

んむ



トンカツ

本来なら大量の油に
浮かべるように加熱
調理するものだけだね



ねえ
何でお昼にご飯を
食べるか知ってる
……

破廉恥な味を
好むことがないように
つてね

そのお弁当にも
教育的配慮が
されている



見たことある

こんな食べ物は社会から
なくしましょうって
メディアチャンネルで

妙に茶色い料理
ほっかほりの



お腹が空く
からでしょ



授業中に
食べたって
いいと思わない
……

いつもお腹が空こうが
その人の生理で
いつ食事しようが
その人の勝手



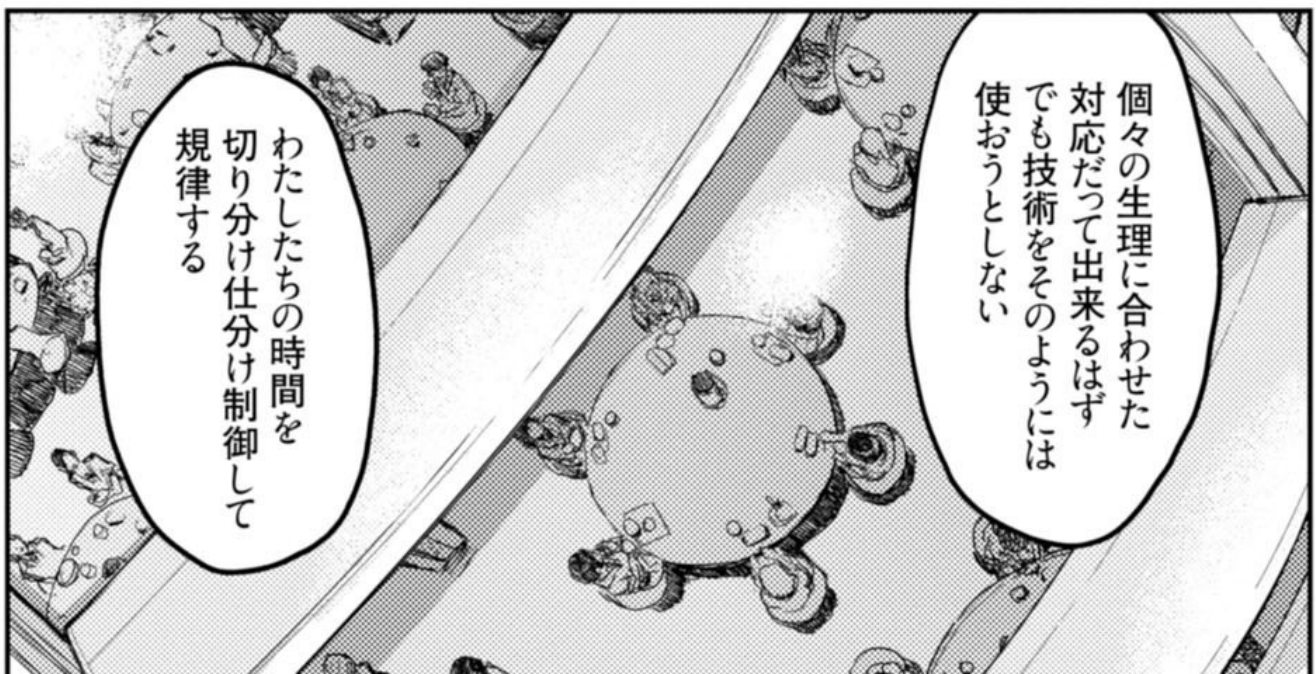
キーン


あなた全然
空いてなさそう
だけど

ああ
そっか




わたし
お腹が空くのつて
いつもたぶん
2時くらいなんだ







定められた目標の
融通が利かないほど
弱い人間はそれを
守りたがる



生活パターンデザイナー
なんて生命主義以前は
存在しない職業だったし

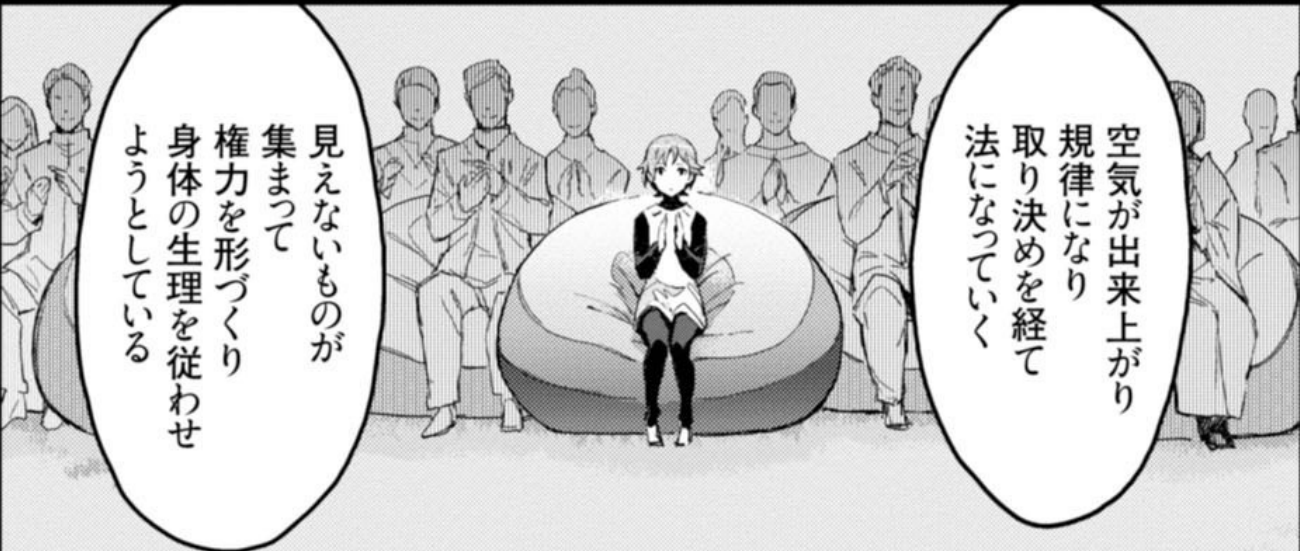


最近までその助言は
あくまで助言に
すぎなかった



この社会を一個の巨大な
病棟に例えたことがあった

昔の人たちも入院中は
さすがに不健康なことを
しようとは思わない
病棟にはそんな空気があった
だから例えに適してたのね



空気が出来上がり
規律になり
取り決めを経て
法になっていく

見えないものが
集まって
権力を形づくり
身体の生理を従わせ
ようとしている



死
というのは

その権力の限界で
権力から逃れる
ことが出来る瞬間

死は
もつとも秘密の点



やっぱり
それしかない
のかな……



地獄だった

だから
逃れてきた



ミアハ
……



わたしね

こことは違う
別の権力に
支配される
場所にいたんだ



でも
ここも充分
狂っていた

人間が生きるための
場所じゃないって
気がついた

優しさに
殺される社会

ひどい話だよ



ミアハ
やっぱり
堕ちて来ちゃった
天使なの.....

そ...







個人情報はむしろ
知らせないもの
だったんだ

その人の情報が全く
分からないなんて
怖くなかったのかな

不気味だよ



キアン

プライバシーって言葉
昔は今と違って
エッチな意味は
なかったんだよ



それで充分
だった

その紙に書ける
だけの情報を
手渡せる範囲
だけの人に



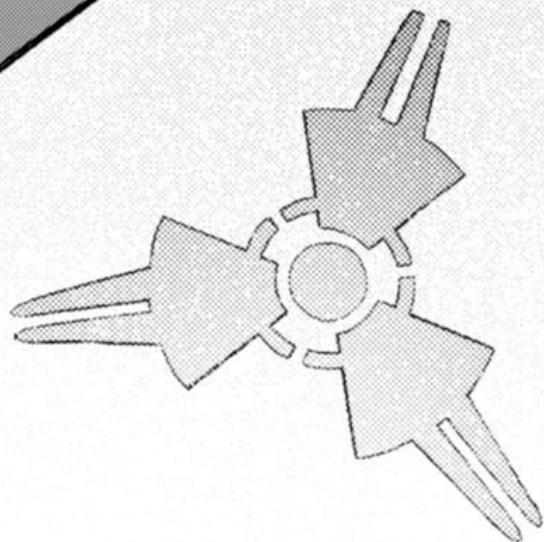
絶対気に入って
くれると思った

そうでしょ



かわいいね
これ

ちっちゃ
くて



二人に
受け取って
欲しかったの

拓現のプロフ
なんかより
わたしは好き



お手製なんだ

すごいね
絵も描いてある

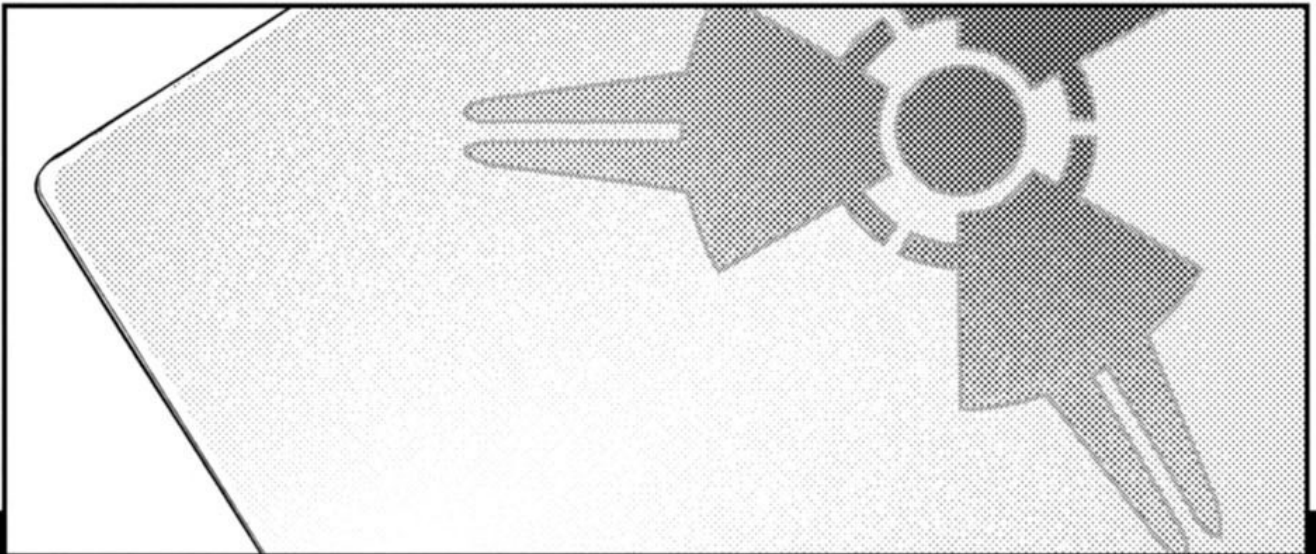
このマーク

そう
わたしたちのマーク

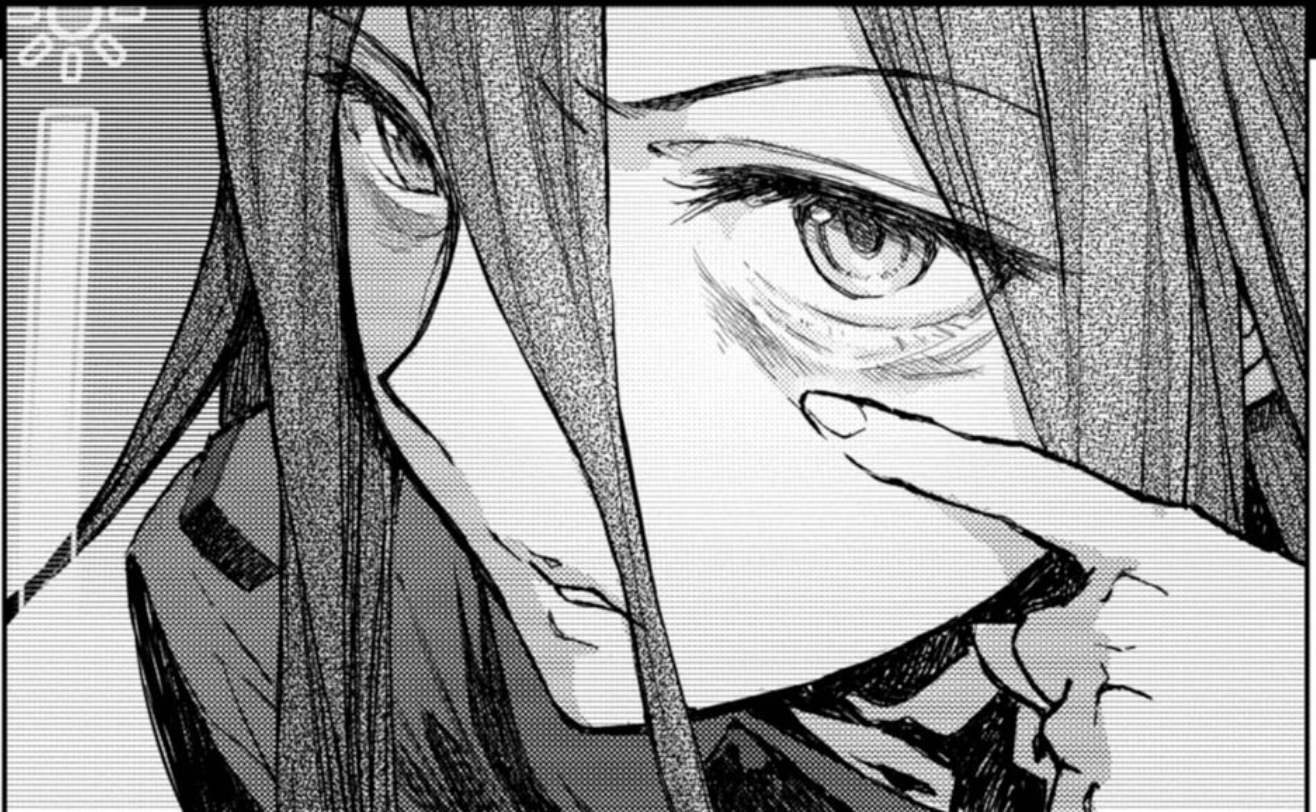


三人同志の
マーク

わたしとキアン
それにトアン



</recollection>





さすがに無理か

傾向として人口を都市に集中させる

生府社会は医療サービスに係るコストのため



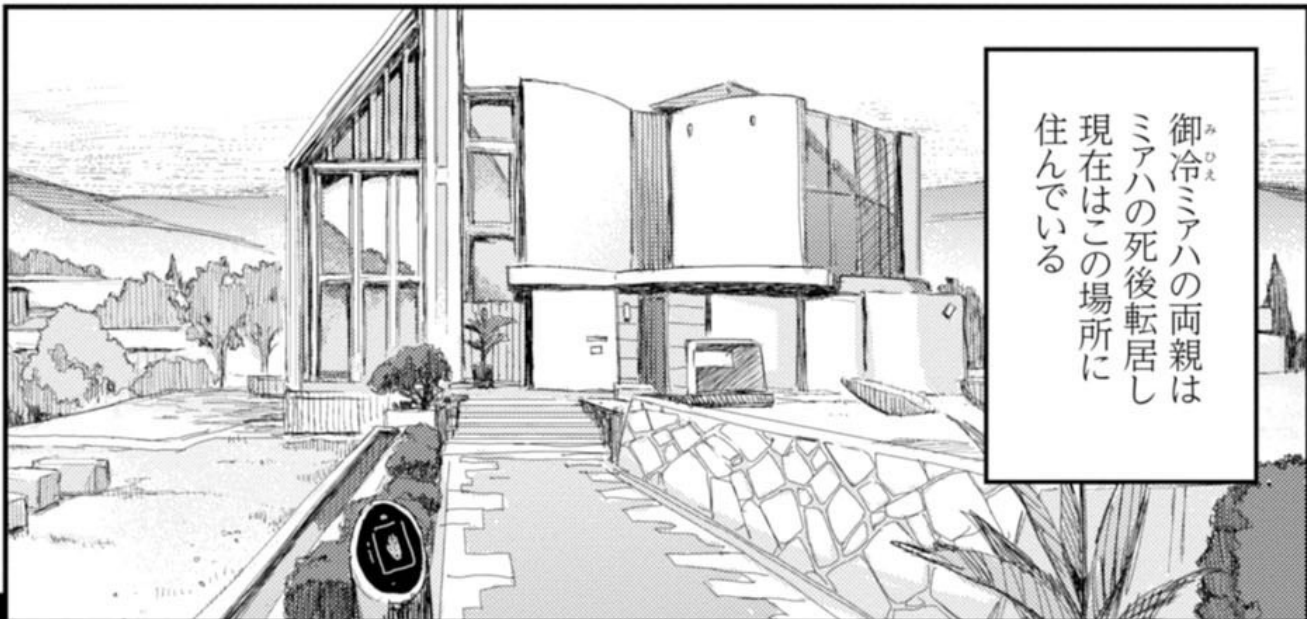


そんな住宅地を
割り当てられる者の
数は限られている



住民が少ない分
つながりが密な共同体と
暮らしを隙間なく
見守るSecCam

郊外型住宅は
広く
景観も美しい



御冷^{みひえ}ミアハの両親は
ミアハの死後転居し
現在はこの場所に
住んでいる





誰も下手なことを
出来ないように

世界に
自分を人質として
晒してるんだね



プライベートって言葉には
個人情報の開示を限定する
という意味がなくなつて

セックスとかエッチな
意味しなくなつて
しまった



そうだよトアン
そのとおり

そうして
この社会は安定と
平和と慎み深さを
保つてるんだ



病棟は
拡がり続けてる

掌握されるのは
いまや
生きることそのもの



だから死は

もつとも
プライベートな点
でもあるんだよ

</recollection>





娘ですか……

……ともかく
少々
お待ち下さい



塗木 クアリル
世界保健検疫/保健監察官事務所
☆☆☆☆
87 A+ A

亡くなられたご息女
御冷ミア八さんのことを
お尋ねしたいのですが
よろしいでしょうか
昨日の集団自死事件に
関連しての調査です

御冷レイコ
さん



チャ



……どうぞ



<harmony/> Project Itoh



<part:number=02:title=A Warm Place/>

12

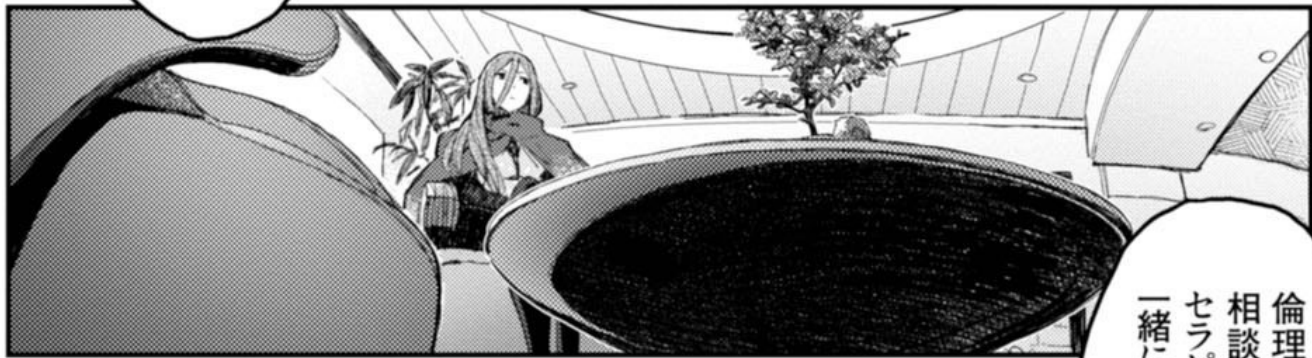




大事な身体を
まさに大事だから
という理由で
傷つけているよう
でした

わたしたちはあの子が
健康に育ち
立派な社会リソースに
なつてほしいと

精一杯の愛情を
注いだつもり
でした



倫理センターにも
相談しました
セラピーにも
一緒に通いました



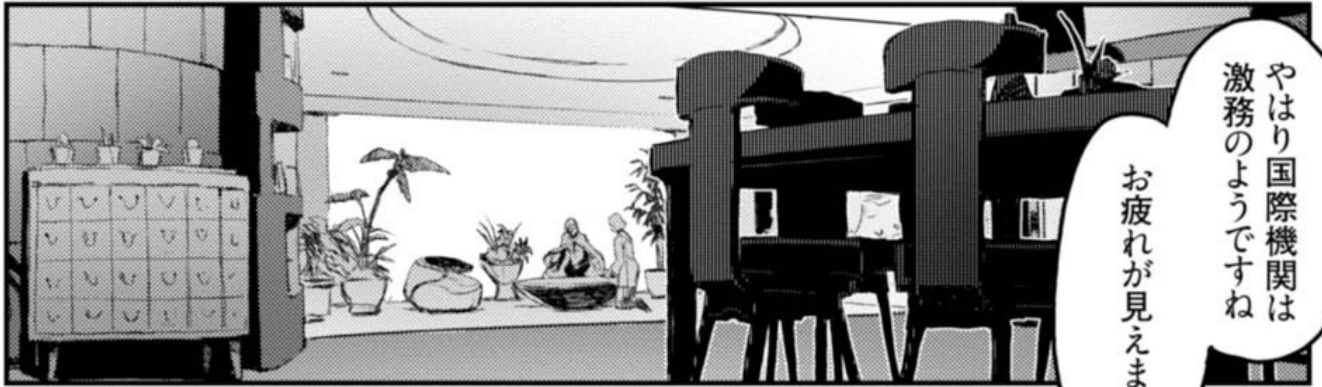
コミュニティの方々も
親切に何度も
セッションを開いて
くれました



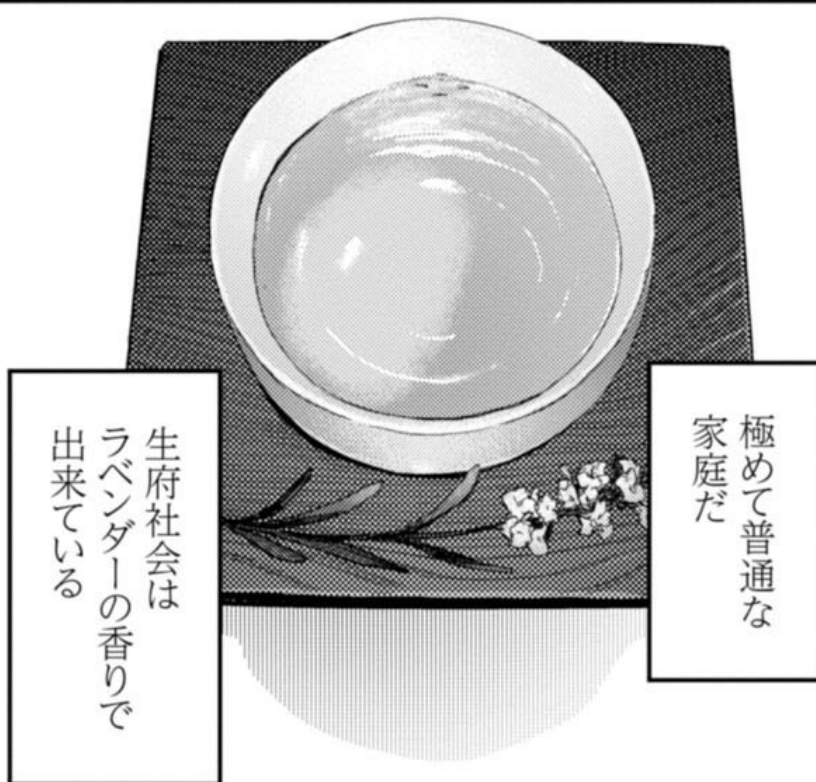


はあまあ

お飲物
ラベンダーの香りは
好きですか



やはり国際機関は
激務のようですね
お疲れが見えます



極めて普通な
家庭だ

生府社会は
ラベンダーの香りで
出来ている



リフレッシュの
効果があると
聞いています
どうぞ

あのミアハを
育てた家庭とは
とても思えない

むかし
チエチエンのあたりで
紛争があったでしょう
……

はあ
今も
続いていますか

そうでしたか
その方面のニュースは
フィルタリングで
疎くなってしまつて

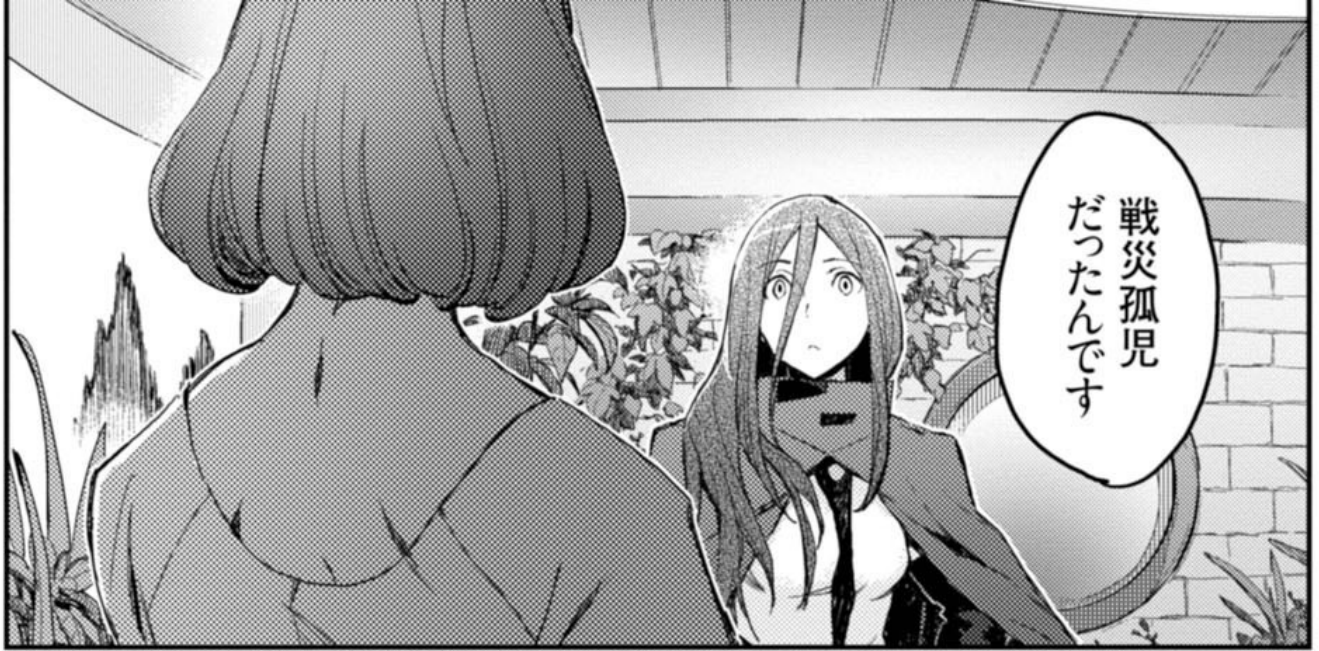
プロファイリング
シートに基づく
心的管理

そういう方は
よくおられます

ニュースには
季節の話題ばかり
というタイプ

それが……

ミアハは
養子でした



戦災孤児
だったんです



衝突区域付近の
少数民族だと
聞きました

その
生き残りです



ミアハが戦災孤児……



それは

記録にない
情報ですね



わたしがこれまで
見てきたような
戦場に……



そういえば
たしかに

地獄から
逃れてきたと



ああ
これは……

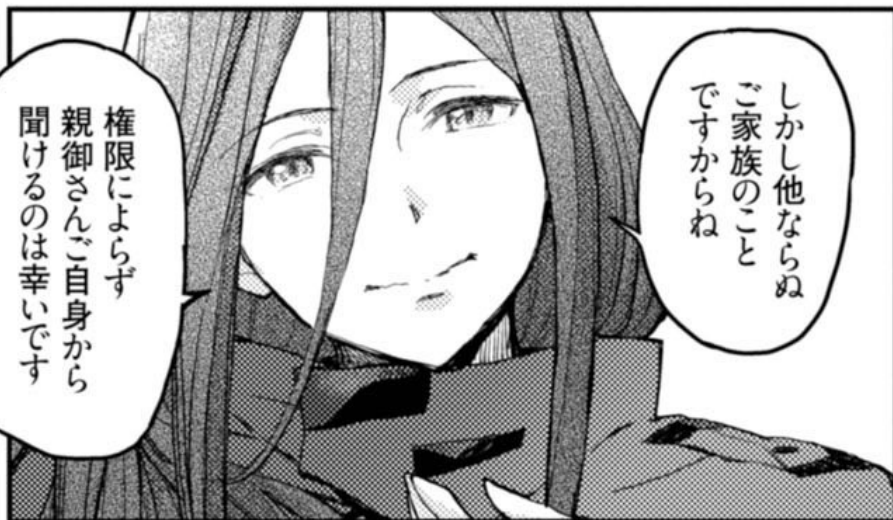




いずれ調査することでしたので
ご心配は無用です

ジュネーブ条約をご存じでしょうか
わたしたちには
最上位の捜査権限が
与えられる

御冷さんの生府も
批准しています



しかし他ならぬ
ご家族のこと
ですからね

権限によらず
親御さんご自身から
聞けるのは幸いです

どうぞ続きを
聞かせてください



最初は良かったんです
わたしたちもうまく
接せられていると
思っていました

けれど
十二歳の頃から
あの子は
何かに憑かれたように
自身を傷つけはじめ
ました



そうしてあるとき
栄養摂取を阻害する
薬を手に入れて

何人かの
お友達と一緒に
拒食で死のうと
したんです

一見普通に食事を
していましたし
健康管理アプリも
正常を示していました

良からぬ兆候に
気づいたときは
重要な一線を
超えていました

かわいい
ですね
とても

八歳の時の画像です
この子を
うちに招いた頃です

子供のできない体質だと
診断されていたわたしたちは
この子を迎えられるとき
とても喜びました

ずっと健康で
均質な将来が

一変して波乱で
華やいだもの
になったように
思えました

衝突区域では
悲惨なことも
あったようです

でも生府の担当者は
心的外傷は重セラピーで
治療してあると
おっしゃってなんです
あとは温かい家庭を
与えてあげるだけだと



親はどうすることが
できるんでしょう

でも
自分の想像力の外に
子供が出て行って
しまったら



わたしたちはそれを
与えられなかった
のでしょうか



それができなかった
者たちは――



苦悩をセッションなどで
共有することは皆が
普通にやっていることだ



声なき叫びを
あげていたんです

あの子はわたしたちの
想像の及ばないところで
わたしたちの感じることも
できない理由で
苦しめられていたんです



内部から見守る視線は
心強いものです



すみません
取り乱してしまつて

WatchMeが警告
してくれました

守るべき精神状態の閾値を
オーバーしてつて



WatchMeが拡張上で
警告してくれるわ

血圧心拍血中ホルモン
あらゆる計測値から
察するに

あなたの精神状態は
対人上適切なものでは
ありません



医療分子の発明は
身体と規範とを
同一のテーブルに
並べてしまった

この社会は当然に
自分を律することも
外注に出している

ミアハさんのご遺漿は
地域の墓地には納め
られていないようでした



献体先は
どちらに

献体……



いえ

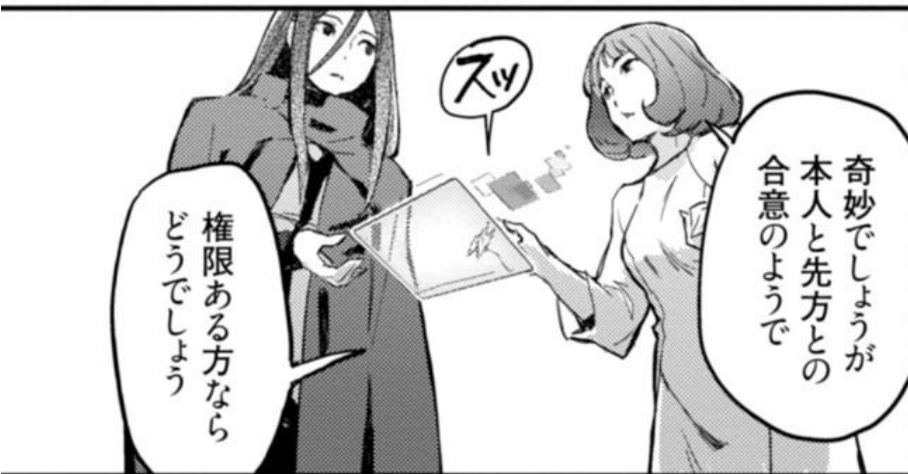
遺志を尊重して
献体に

お墓もやはり
チエチエンに
……



ええつと

そう
ですね



ズッ

権限ある方なら
どうでしょう

奇妙でしょうが
本人と先方との
合意のようで



これ

提供先は
わたしも見ることが
できません



ええ
見られると
思います

失礼

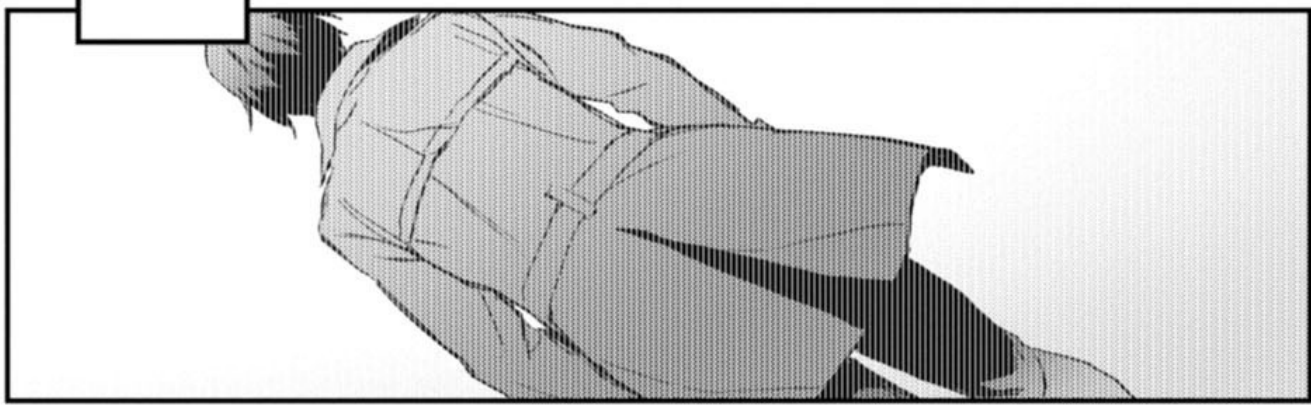
供先を指定しません。
供先は以下の者にします。

を受ける者
京健康情報大学大学院・統合生体分子機能
研究員・冴紀ケイタ/
共同研究員・霧慧ヌアザ

選することを願
きを行う者

受領者

霧慧ヌアザ



<harmony/> Project Itoh

<reference:thesis:id=stid749-60d-r2yrui6ron1>

<title>「医療分子（メディモル）群」と可塑的製薬用分子「メディベース」を用いた人体の恒常的健康監視（ホメオスタティック・ヘルス・モニタリング）の可能性について</title>

<author>研究者：霧慧ヌアザ</author>

<author>共同研究者：冴紀ケイタ</author>

</reference>



<part:number=02:title=A Warm Place/>

13





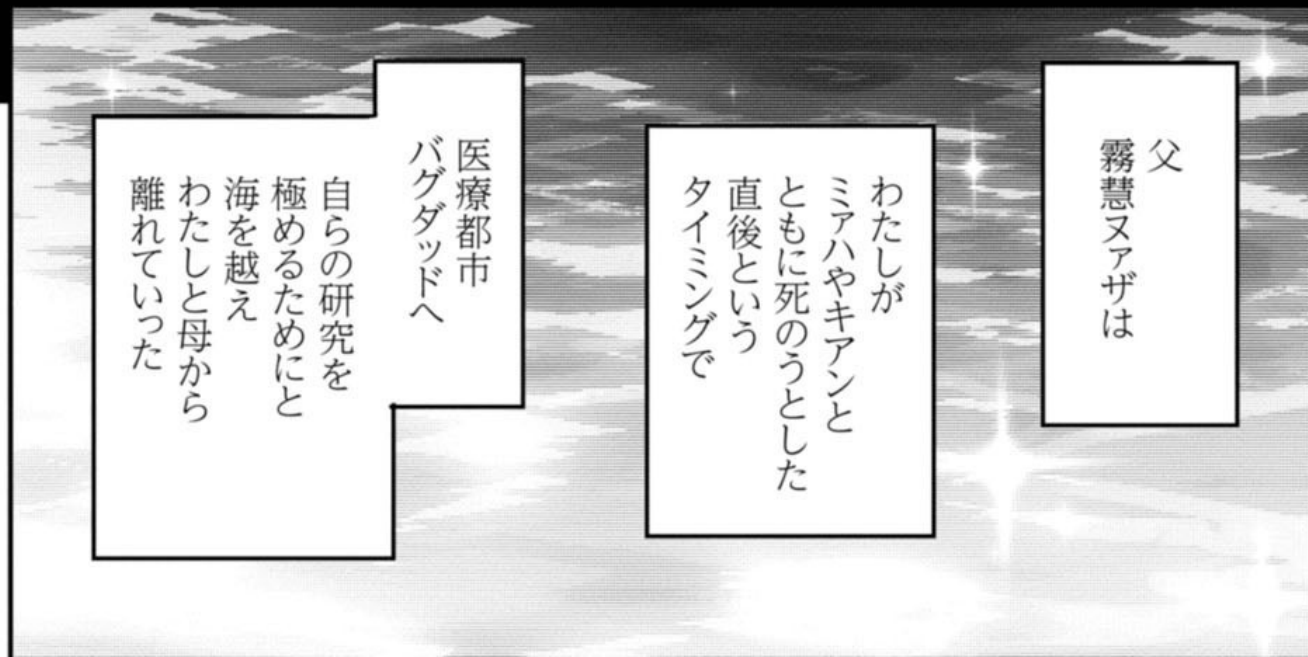
そっか

ふーん



ミアハはそんなこと
気にしないか
興味がないんだ
と思っていた

恐る恐るの告白
だっただけに
拍子抜けした



父
霧慧ヌアザは

わたしが
ミアハやキアンと
ともに死のうとした
直後という
タイミングで

医療都市
バグダッドへ

自らの研究を
極めるためにと
海を越え
わたしと母から
離れていった

東京健康情報大学 誠研
統合生体分子機能研究セン



冴紀ケイイタ

Pro
018

冴紀ケイイタは
父との共同研究者

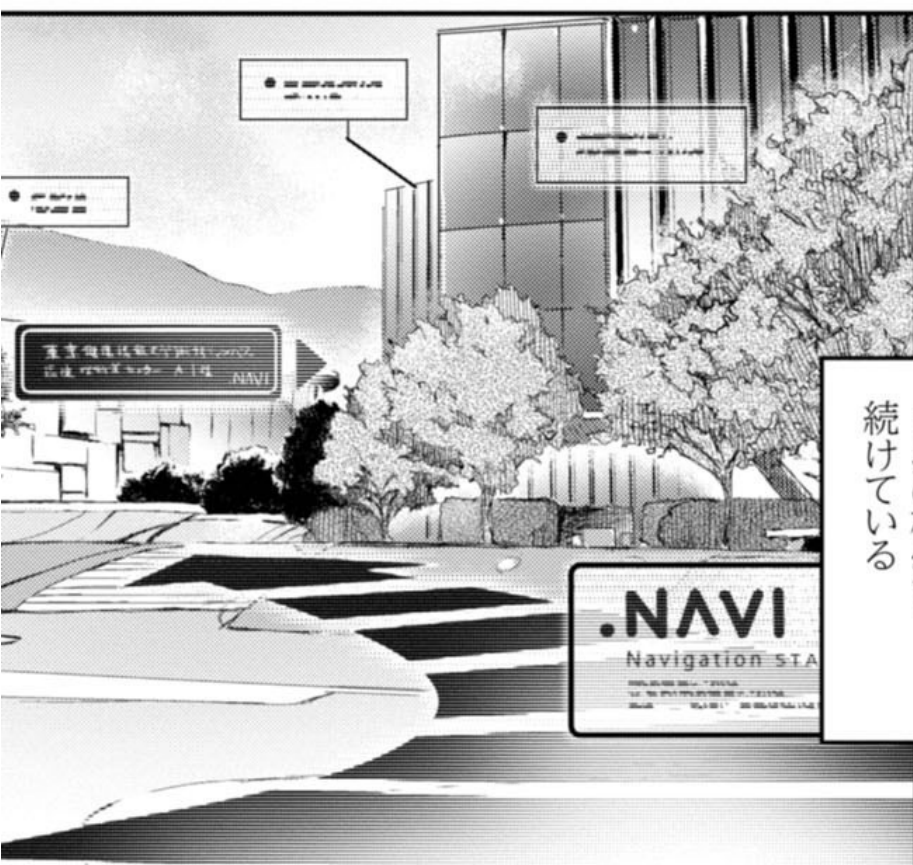
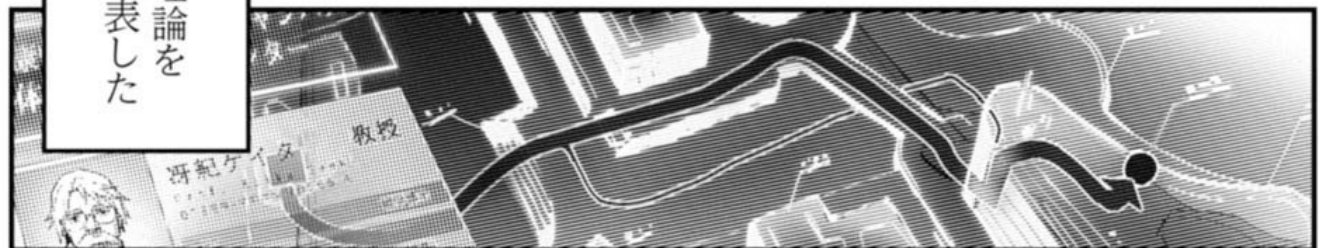
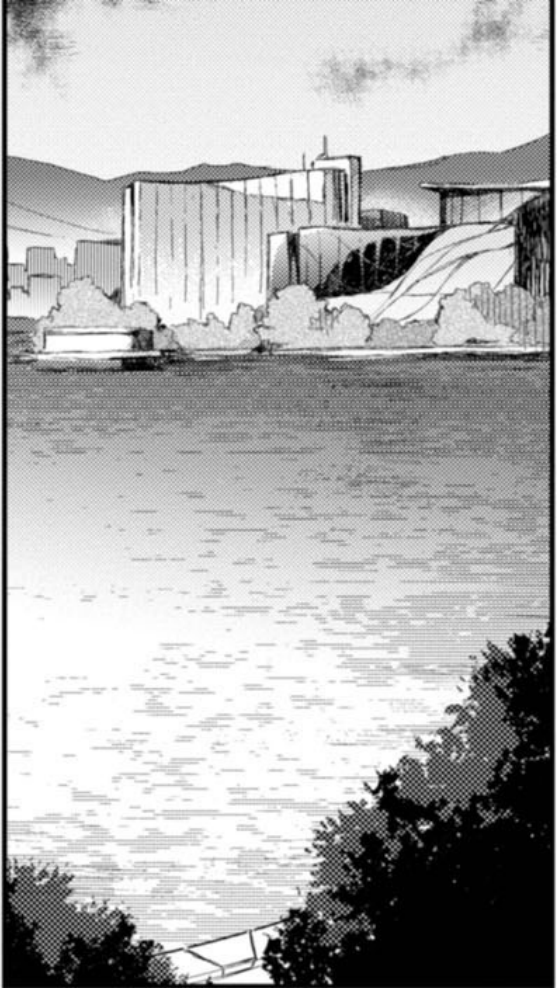
WatchMe理論を
父とともに発表した

学位

担当

(全学共通教育) 生物

主な研究テーマ



今も大学に留まり
自身の研究を
続けている



トアン嬢ちゃん

やあ
螺旋監察官なんて
随分と剣呑なのに
サーチされたと思えば
どこかで
見覚えある
名前じゃないか



PHONE LINK
CALLING
from
SAEKI Keita
Naga

トルルルルル
ル



元気じゃない者
なんぞおらん
だろ



お久しぶりです
冴紀教授
ご壮健で

病気そのものが
無くなっち
まったんだから



そのわりに人々は
健康に口やかましい
ですけど



〈大災禍〉から
もう半世紀です
けどね

その時酷い目を見た
七十代八十代がまだ
現役だろう



ここまで極端な社会が
できるとはな
予想できんかったよ

気を抜くとすぐにでも
癌やウイルスに制圧されると
思ってしまったている



しつこく
教えられましたよ

北米大陸だけで
一千万人以上の
命が奪われた

パクス・アメリカーナ
世界のある面における
平和と秩序を引き受けていた
超大国が一転
混乱と武器の流出元になった

まさかという
出来事だったんだよ



まあ仕方がない

なにせ
絶滅の恐怖だ

君ら世代にや
実感出来んだろう



混乱は世界に波及し
核弾頭は流出するわ
その核を使ったテロまで
起こる始末

皆が皆
虐殺するための器官を
生得的に持っているかの
ような虐殺ぶりだった

多様な民族が
混在する国だったが
その民族が互いに
殺しあつたんだ



宇宙服なしには
生存できない
つまりWatchMen
メディケアだな

混乱と核戦争は
人間の住む地上を
宇宙空間に変えた



命は守られるし
権力や富が独占される
ようなこともない

社会的結合の旗印
でもあつたろうがね
慈愛に満ちた社会に
息苦しさを感じても
〈大災禍〉みたいな大混乱
よりましだ



わたしらの考えた
ちっちゃなやつらは
よくやったと思わんかね



ええ
はい

そんな
ことが

財布を
使いこなせたら
貯金箱はいらない
ですね



70

反動だな
極端な出来事のあとは
ちようどいい頃合いを
見つけることが難しい



今は人類全員が互いを
飼いならしている
そんな社会です

<inspiration>



あまり
ニースは
下の方まで
見てなくて

いえ

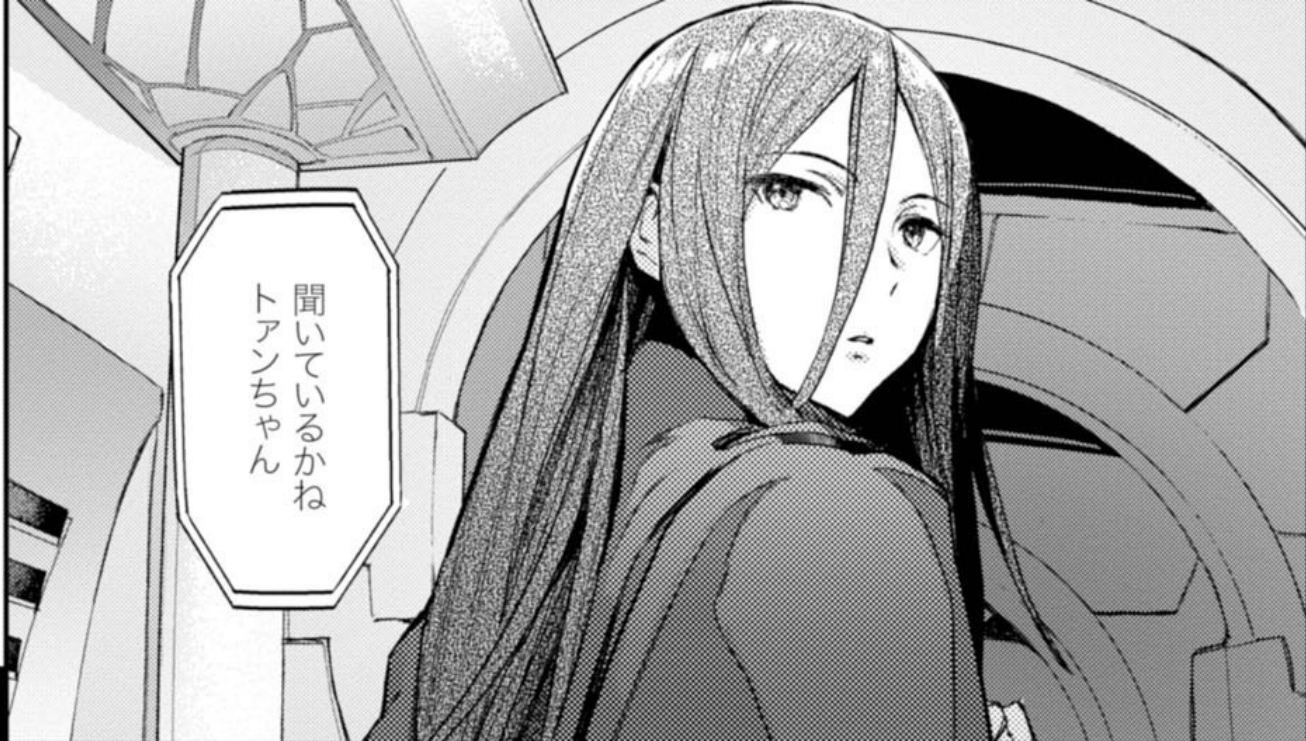
まさか

そういう
ことだ



ほう

貯金箱なんて
トアンちゃんの世代は
知らんと思ってたよ



聞いているかね
トアンちゃん

</inspiration>



高校時代に
聞いた言葉です

財布は向こうで
見かけますが
貯金箱は見たこと
ないですね



いずれ良い頃合いを
見つけることだろうよ

自殺率の指数的上昇は
生府社会の不安要素だが

それも
的確な療法や制度で
解決を得るだろう



限界なんじゃ
ないでしょうか
過剰な慈しむ社会は

リソース意識という規範
社会がそうあれという
内なる規範に耐えられない
人々もいます

まあ
この煩わしい肉体を
捨て去るなんて将来も
あるのかもしれない

よくSFであるだろう
精神をデジタル化して
ネットワーク上なりに
移すってのが

そうすりゃ肉体は
ここらにある
デッドメディアと
同じだな

さて

世間話に来た
わけじゃなからう

わざわざ
WHOの官僚が
来るんだ

どんな案件かね
トアンちゃん

御冷ミアハ



うむ

献体を受けた
子だ

研究のために
わたしが
受け取った



ご存じですか



先生のもとには
来ていない

研究計画
講義録にも献体が
使われるものは
年単位で一切
無かった



バグダッド
ですよ

その時期
先生はバグダッドで
研究していましたか

遺体は父が
持って行った

そうでしょう
目的は何です





話さなきゃ
ならんかね
向こうで聞け

研究の内容
は……



SEC脳医学
コンソーシアム

ガブリエル・エーデイン
という女性にあたるという

バグダッドでの
スアザの研究助手だった
まだ在籍しているようだ

Gabrielle Etain



腹立たしい
職業病だな

そこへ
座りなさい



教授
日本の警察に
令状の申請を要求
しましょうか……

あまり困らせないで
ください



はあ
かぐや姫もかくやと
育てられとった
トアン嬢ちゃんが
こんなやつに

親があつても
子は育ちます

まあこの役職
だいたい
こんなもんです



ほ

こいつは報酬系と呼ばれる領域の振る舞いに関する論文だ

ほ
ほ

簡単に言うと人間の意志の在り方についての新しいモデルだ

これに基づいた心理シミュレーションはかなりの精度で人間の意志を模倣できる

中脳の一部

脳核
側脳

人間の報酬系を制御する
脳の領域だ

この報酬系によって動機づけられた「欲求」のモジュールが競って選択されようとし

調整によって最終的に下す決断を「意志」と呼んでいるわけだ

分かりやすく
例えよう

丁度いい
資料があった





会議を想定しろ

いろんな人間が
あだことうだと
主張を通そうとする

「欲求のモジュール」は
そんな会議の出席者だ



ひとつのタマシイとか
そんなようなものを
錯覚してしまう

おめでたい生き物なのさ

人間ってのは本来
バラバラな断片の集まり
だというのに



こいつらが
侃々諤々やつて
結論を出す

人間の意志というのは
この会議全体の
プロセスを指す



並列処理なんだ

常識的に思いがちな
「わたし」という
ものが在って
直列演算して
いるんじゃない

わたし



これで
この論文は
その脳内会議を
モデル化したもの
ですね

まあ
いいでしょう



わたしの
職業病には
もつとひどい
症状があることも
お忘れなく



なんですか
この絵は

学生が子供向け
出張講座に作った
レジュメでな

小役人を小馬鹿に
するにも丁度いい



そいつを読んだ
ヌアザは

人間の意志を
制御することが
可能だと
踏んだんだな

意志の制御――





問題は実現する
ためのツールだ

脳内に医療分子を
送り込む手段

ヌアザの研究は
そこだ



脳血液関門
ですね

それも
課題のひとつ
ではあるかな



欲求は報酬とがっちり
結びついている

報酬を細かく制御することで
「脳内会議」における
欲求モジュールの
イニシアチブが変わる


意志が変化
していくんだ



社会構成員に
規範や規制によるのではない
制御された意志を持たせる


社会にとって
完璧な意志を
持つ人々による
完璧な調和

その端緒を
この集中医療社会は
手に入れたというわけだ



問題は
意志を制御する技術が
あったとして
それで何をやりたいか
です

あるいは
何をやらかしたのか



人間の魂をいじる




多分
多分だが

そういう
目的なんて
持つちやいないよ

こいつは
魅力的な研究だ

手を出すなというのは
酷な話さ



ただそこに
科学的関心があるから
研究するもんだ

科学者の業でね
わたしにも
理解できちまうんだ

あいつが
妻子を放つてまで
バグダッドへ行った
理由が

<harmony/> Project Itoh

体内受話で会話する時
歩きながらも足元を
疎かにしないようにと

多くの人は
うつむき加減で話す



習性として
座っている時も
うつむきがちに通話する

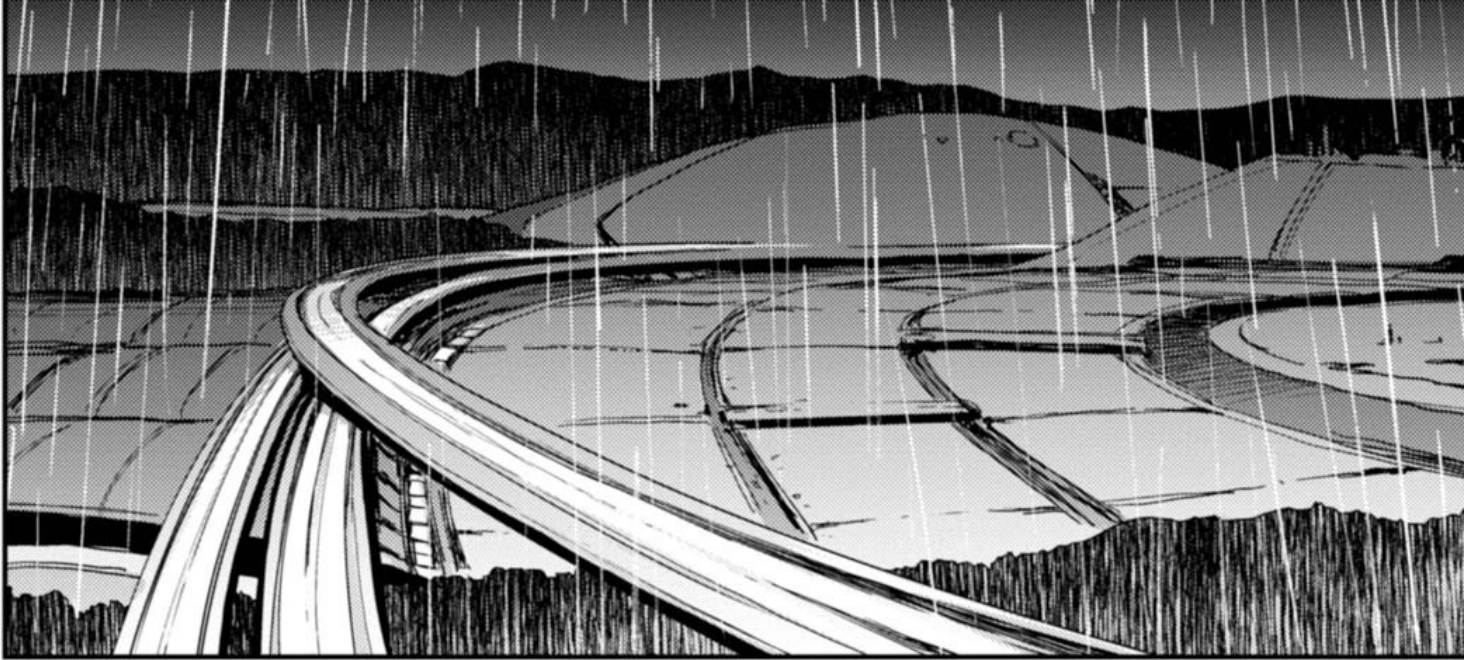


まるで
内省するかのように

じっと一点を見つめる



<part:number=02:title=A Warm Place/>





死の直前
うつむきの時間

キアンは何者かと
通話していた



けれど



発信者は
空白

キアン
聴こえてるよね

13
年ぶりだね
ひさしぶり

PHONE LINK

(ID情報がありません)
(位置情報がありません)

19:34 00'03"

PHONE LINK

(ID情報がありません)
(位置情報がありません)

19:34 00'05"



キアン

PHONE LINK
_(ID情報がありません.)
_(位置情報がありません.)
19:34 00:09"



善って
なんだと思う

PHONE LINK
_(ID情報がありません.)
_(位置情報がありません.)
19:34 00:11"



その本質は
「ある何かの価値観を
持続させる」ための
意志なんだよ

良善
良しん

00:00 / 00:00



家族が続くこと
幸せが続くこと
平和が続くこと

PHONELINK
通話中



人々が信じている
何事かが
これからも続いていく
ようにすること

PHONELINK
通話中

それが「善」の
本質なんだ



ミアハの声だ
ミアハの思考だ

人間のからだは
そんなふうには
できていない



でも
永遠に続くもの
なんてない

そうだよ



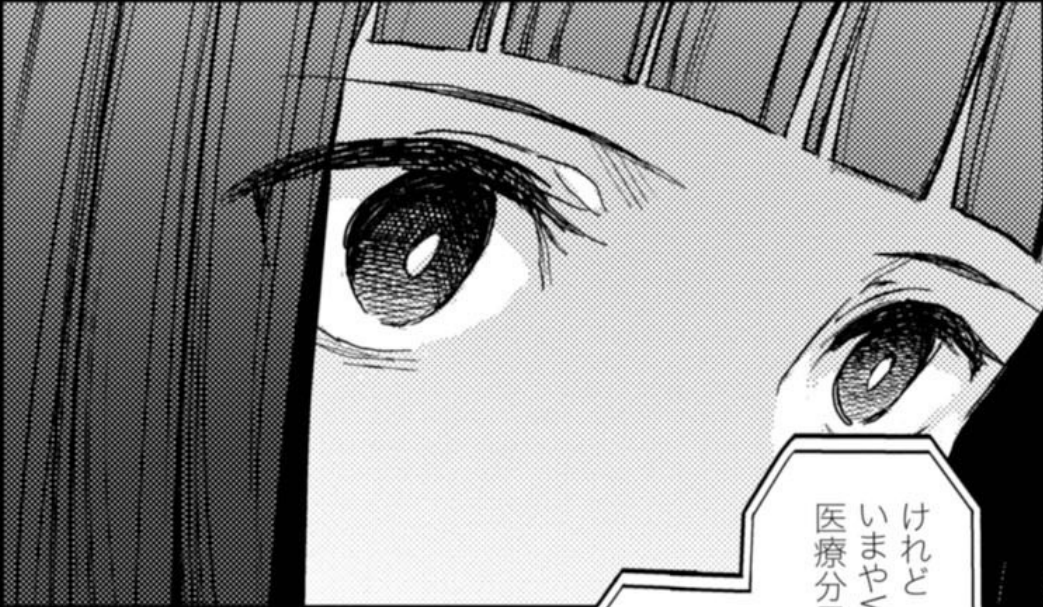
PHONELINK
通話中

人間は成長する
人間は病気になる
人間は死ぬ


自然には
善も悪もない

すべてが変化し
いつか滅び去る

00:00 / 00:00

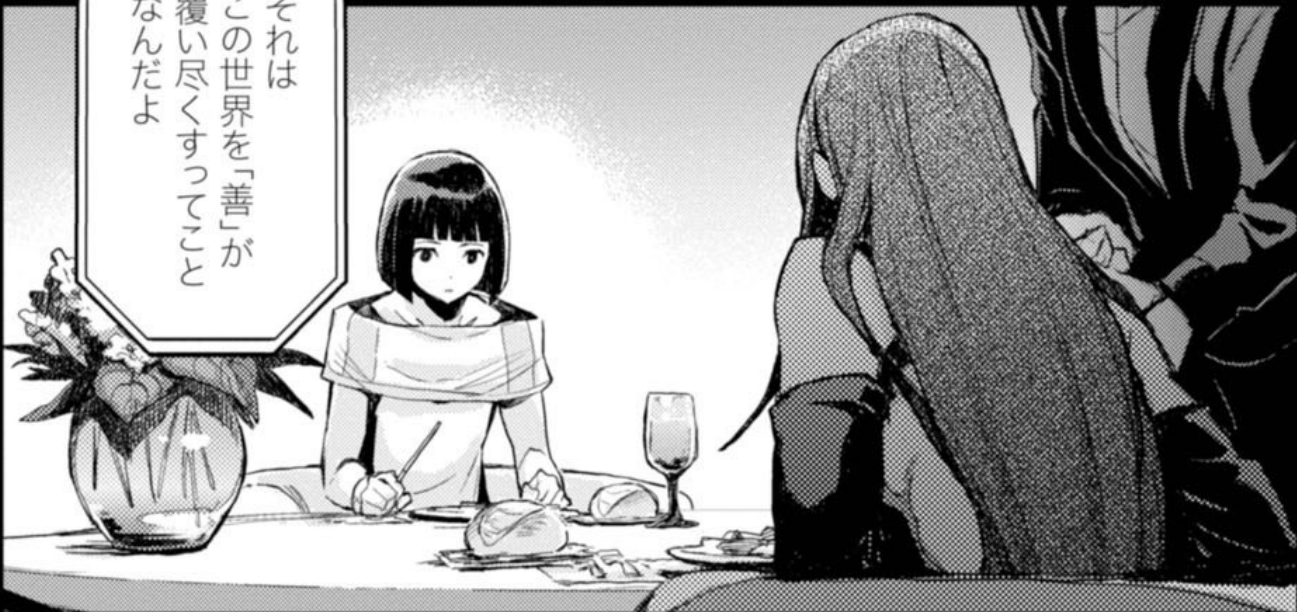


だから
善の力で人間が
傲慢になるのを
ギリギリのところまで
防いできた



けれど
いまやWatchMen
医療分子のおかげで

病気や老いは駆逐され
「健康」っていう価値観が
すべてを蹂躪しようとして
いる



それは
この世界を「善」が
覆い尽くすってこと
なんだよ

キアン

PHONELINK
話中

これほど人間が
「善」に律された
セカイはなかった

空港で言った
宿泊先の件
なんだけど

あれさ
やつぱり




PHONELINK
通話中

これほど人間が
「善」に身を寄せた
セカイはなかった

王様が
治めてた時代は
逆らう奴は
処刑するぞって
脅かしてみんなを
従わせてた


だから
フランス革命は
成功したんだよ




王様を打ち倒せば
それでよかったからね

けれど
みんなひとりひとりの
なかにあるものが
敵だったとき

わたしたちは
どうすればいいの



民主主義以降
人々を律するものは
人々のなかに移って
いった




いまの生命主義は
その極限で

同時に
成れの果てでも
あるんだ






すごく傷ついたし
すごく悲しかった



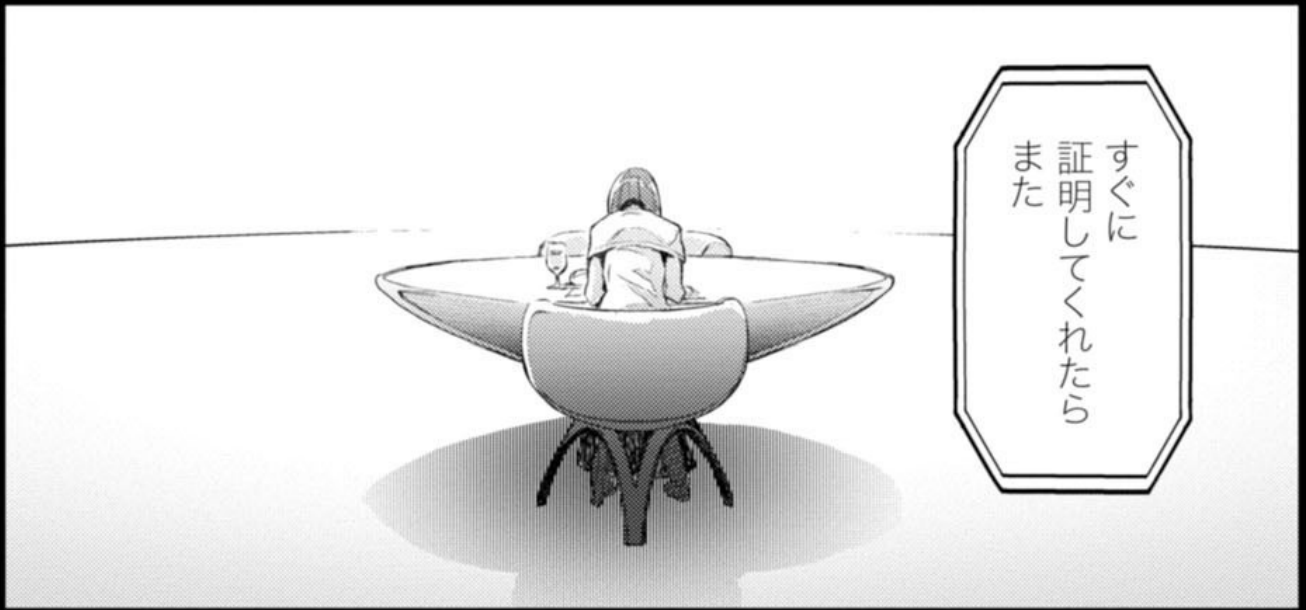
でもね
いまわたしに
その勇気を見せて
くれれば

それでいいような
気がする

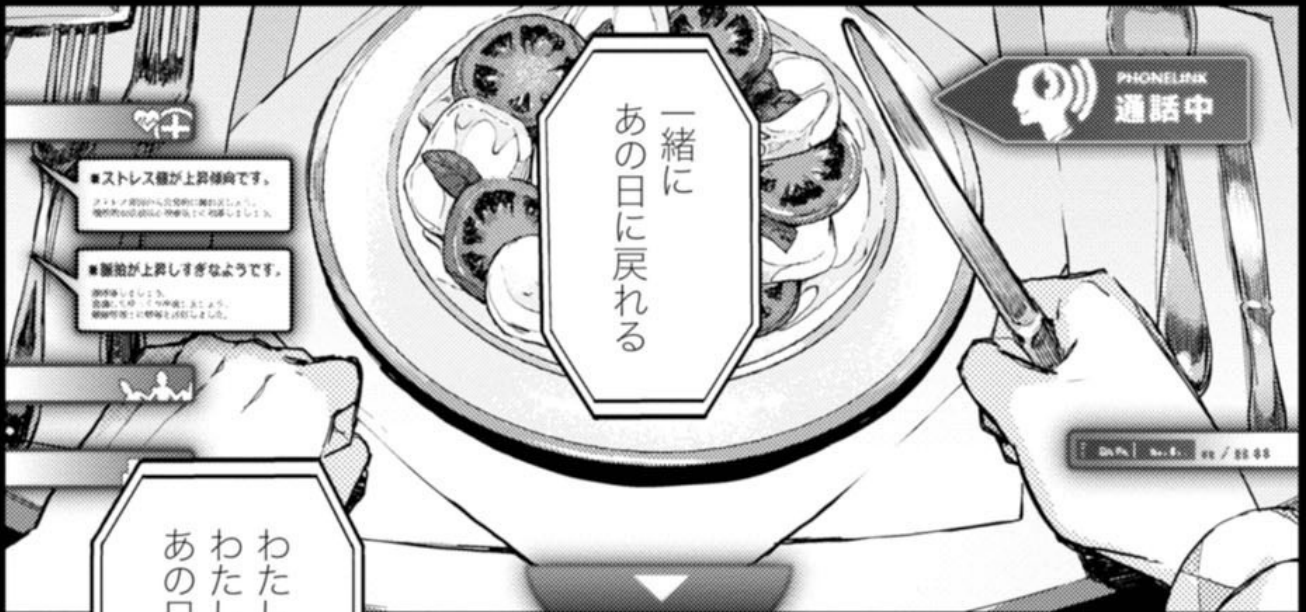


世界に対して
永遠に続くものは
ないんだって

このカラダは
自分ひとりのもの
なんだって



すぐに
証明してくれたら
また



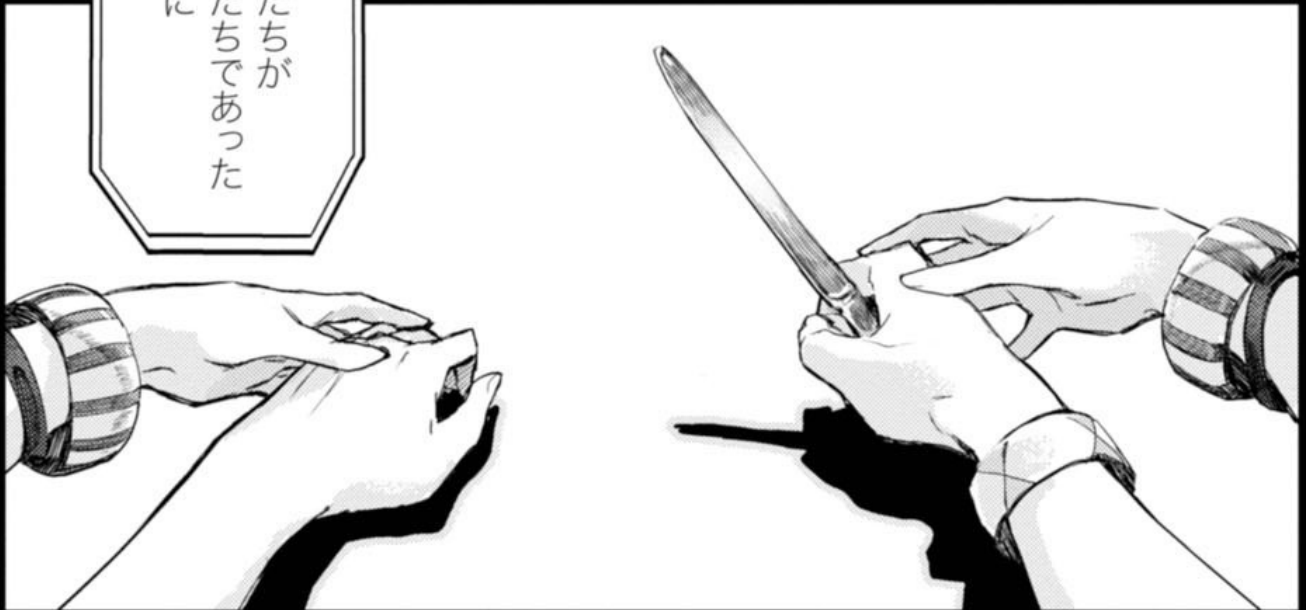
一緒に
あの日に戻れる

●ストレス値が上昇傾向です。
ストレス管理から危険時に通知いたします。
健康状態の改善に努めます。

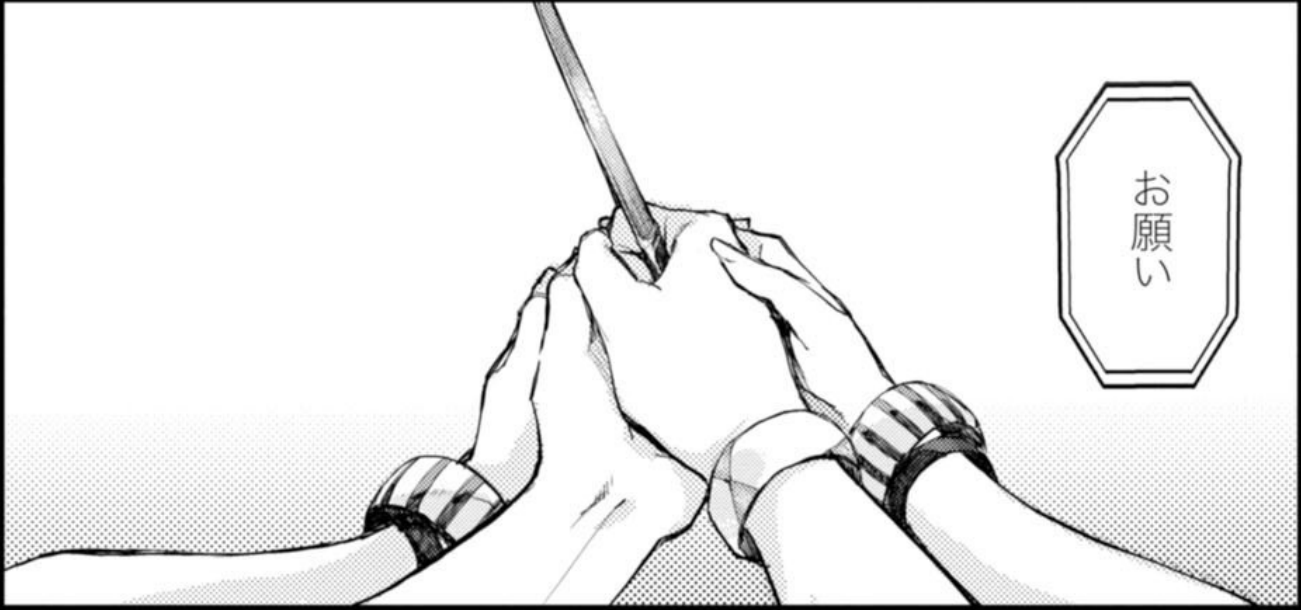
●睡眠が上昇しすぎなようです。
就寝時刻を調整し、十分な睡眠をとってください。
健康状態の改善に努めます。

PHONELINK
通話中

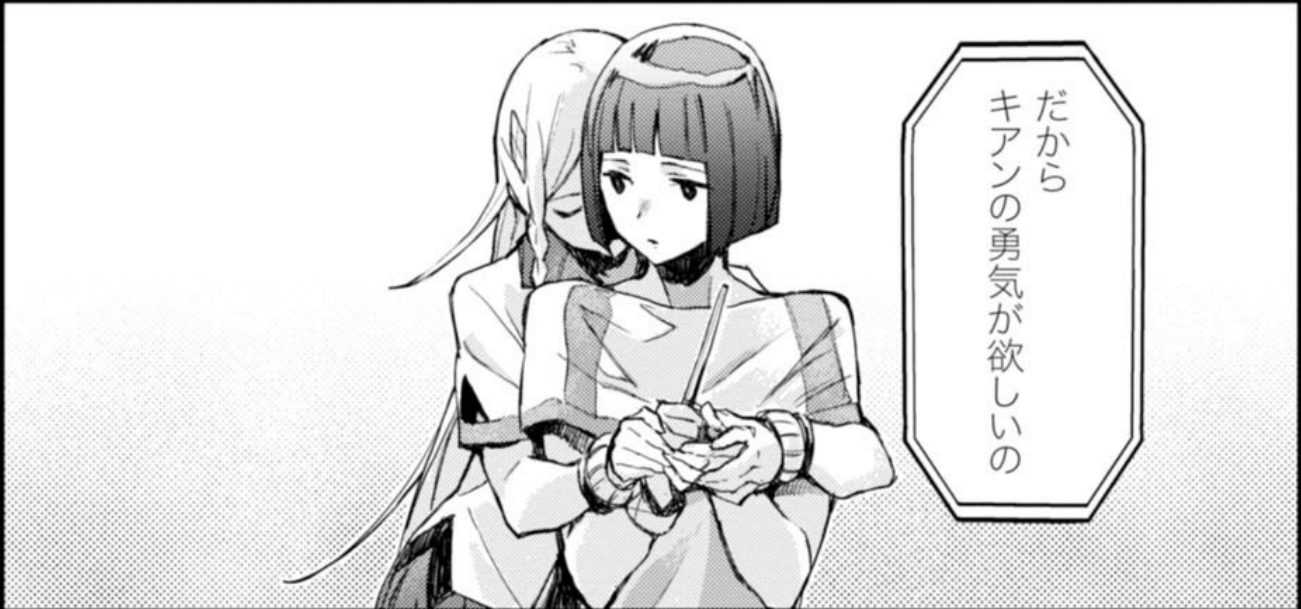
00:00 / 00:00



わたしたちが
わたしたちであった
あの日に



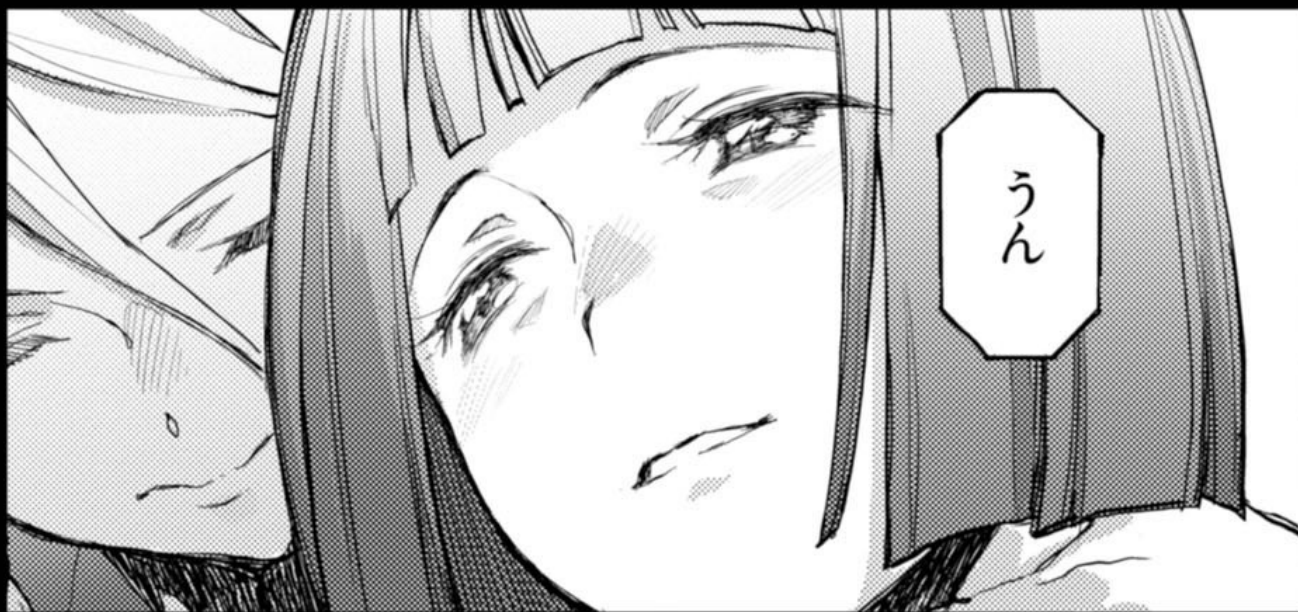
お願い



だから
キアンの勇気が欲しいの



証明できるところを
わたしに見せて



</log>







<harmony/> Project Itoh




死者は泡になるまで
分解されなくては
ならない

<part:number=03:title=Me, I'm Not/>

15



〔大災禍〕の時代
死体は危険な
感染源だった




何億という
犠牲者

放射線により変異した
ウイルスが蔓延した
時代


死体の無害化は
至上命令だった



INFECTIOUS
SUBSTANCE



大量発生した死体を
ポリマーコーティングし
分解無害化を待つ



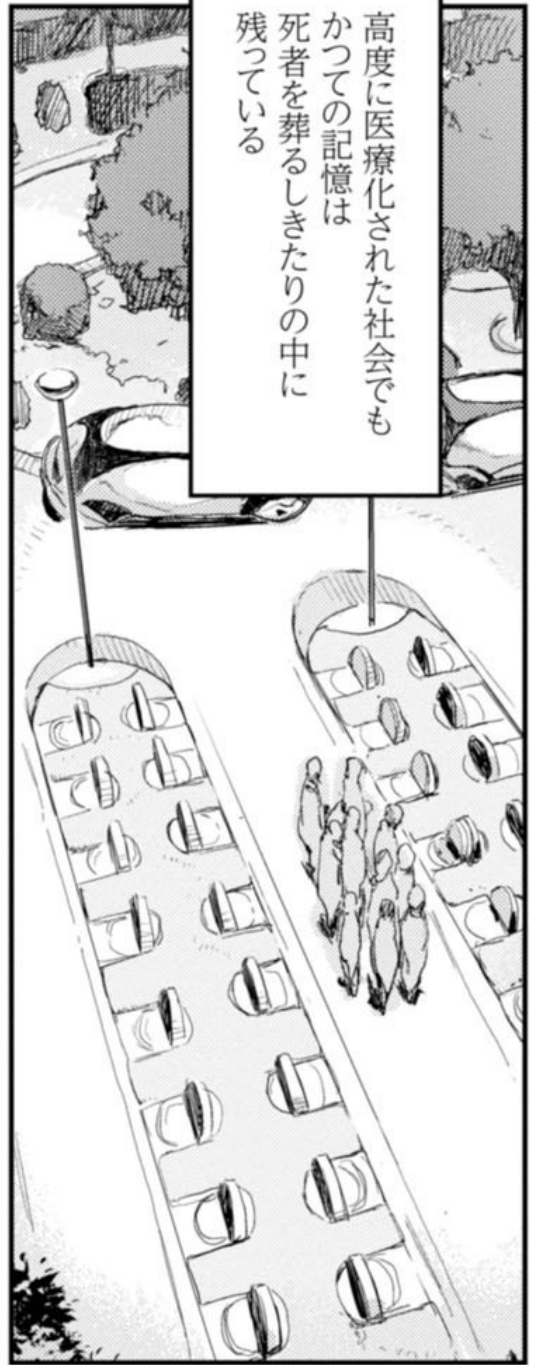
手っ取り早い方法は
今も
設備のない紛争地帯で
まれに用いられる



混沌の遺物

工場
溶かし場
分解センター

死者はより速やかに
安全に分解される

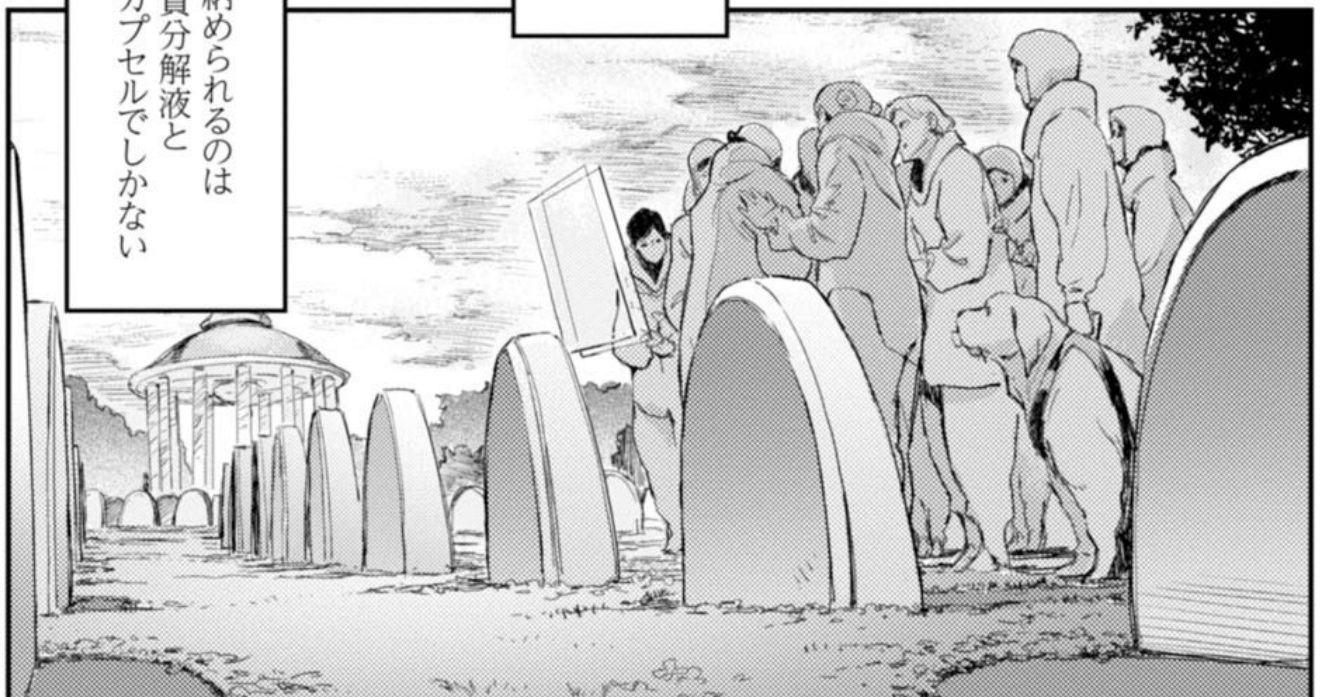


高度に医療化された社会でも
かつての記憶は
死者を葬るしきたりの中に
残っている



パステルカラーの喪服は
かつての防護服を
デザインの基礎としている

墓に納められるのは
蛋白質分解液と
滅菌カプセルでしかない





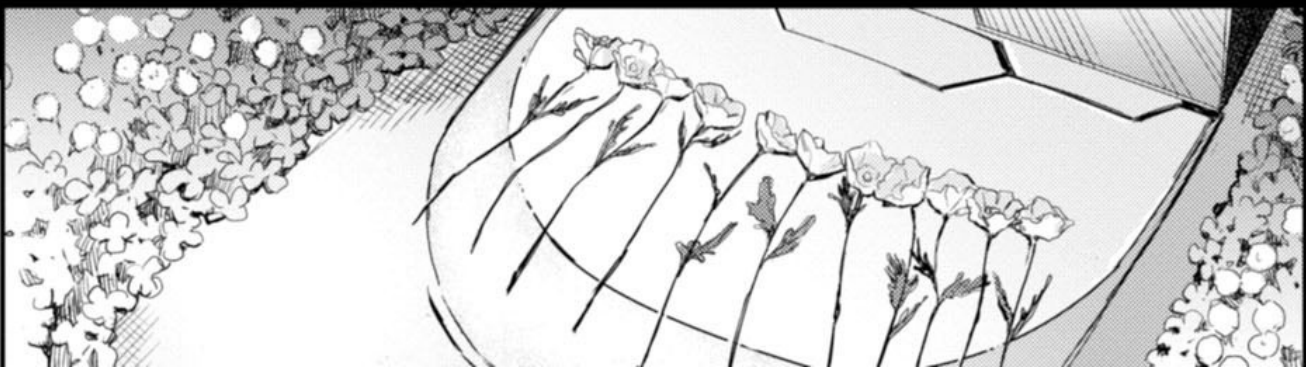
<recollection>







</recollection>





他の事例に
似たような痕跡は
一切なかった



キアンは
あのミアハラしき声に
導かれて喉を
掻き切ったのだろうか
……



じゃあ
あの声は……

```
<list:item>  
  <i:御冷ミアハ>  
  <i:父>  
  <i:意識の操作>  
</list>
```

```
<list:item>  
  <i:御冷ミアハ>  
  <i:献体>  
  <i:phonelink>  
</list>
```



道筋だけは
はつきりしている



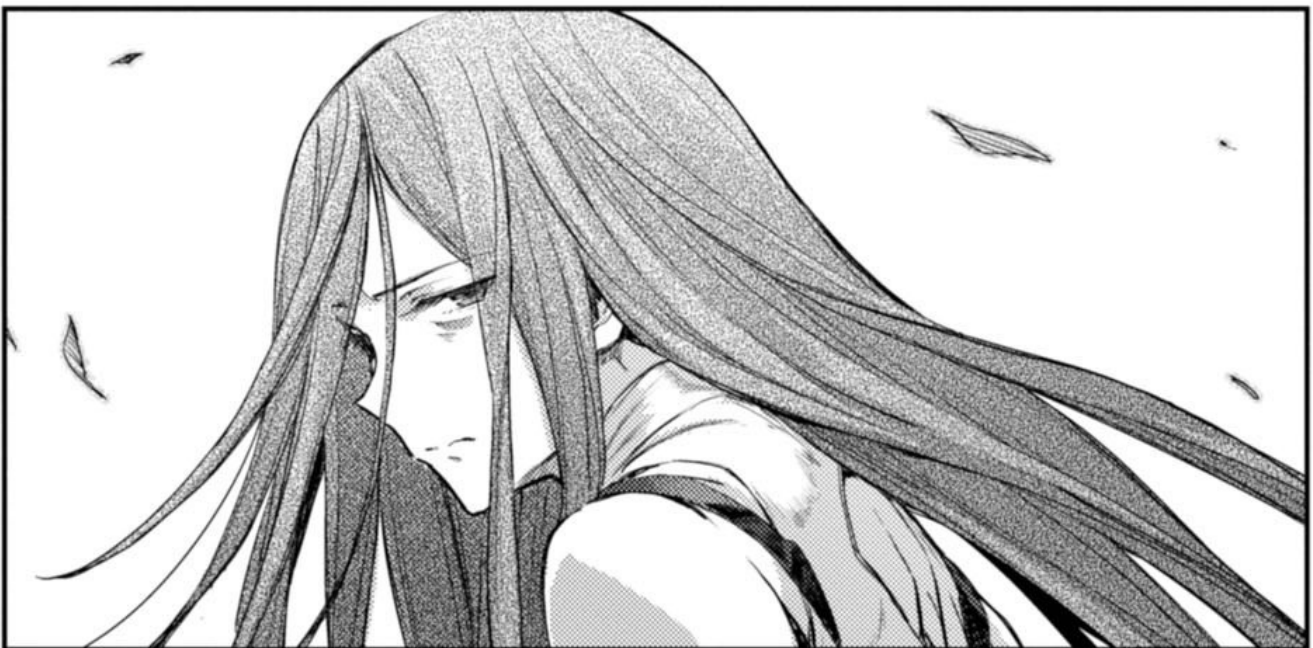
道筋ははつきり
している

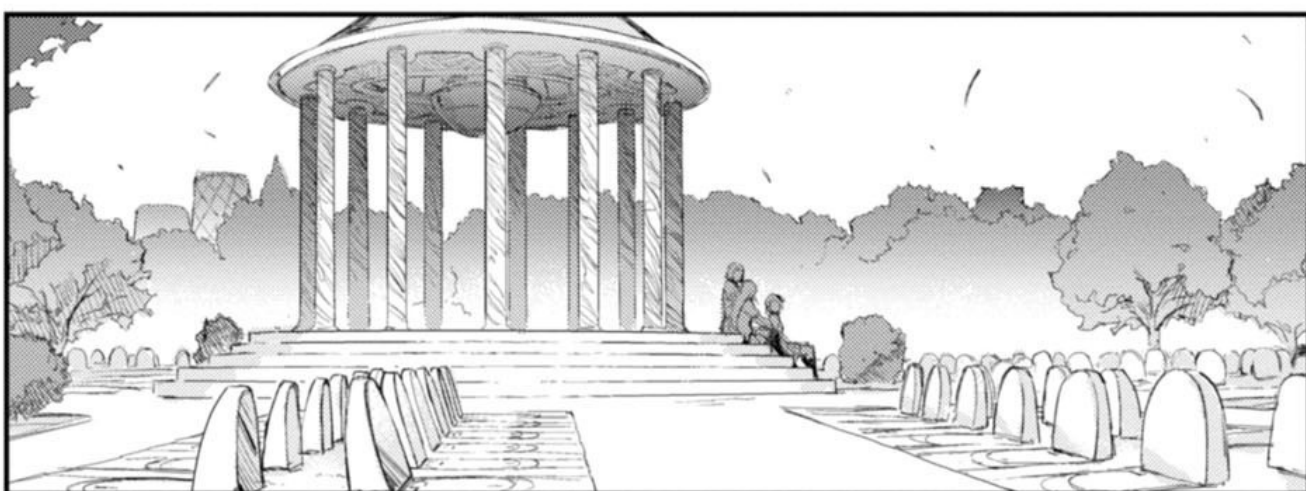
バグダッド
SEC脳医学コンソーシアム



トアンが
生きててくれて

良かった





霧慧トアン
上級監察官

☎ PHONE LINK
OsCara STAUFFENBERG

04545-FGRT-78514-1
SOC-RANK +5

Niamey, Niger

13.47807
2.17722

🕒 7:14

🕒 01'08"

あなた
プロフィールを
偽りましたね



捜査上必要な
行為でした

捜査ね
どうかしら

詳細を
上げてちょうだい

当然分かっている
でしょうね

他者に対する信用が
社会に安定をもたらす

現代日本で暗殺の危険
でもあったかしら



まとめたら
いづれ

すぐに

捜査は確実に
成果を
上げています



言いなさい

ええ

そのように
努めます

いつまでも
ニジェールのカードが
使えるとは思わないことね

LINE LINK
OsCara STAUFFENBERG

Niamey, Niger

7:15

01'41"



score : 62.90
ID: TETTO VVALI 3166C 4



ちよつと
……

10
11

たった今接触する
ところです
失礼します



あなた一体
何をしているの

そもそも
警察機関に接触
していないよね



やあ
どうも



用は何……

それとも
職業上の習性……

あえてこれを
チョイスされるのは
ご趣味ですか



こんな都会で
見ると思いません
でした

ハンドル付きは
やはりデザインが
異質ですね



わたし
こう
いう
者
です



ああ
そう
そう

螺旋
監察
官は
いつ
テロ
の標
的に
なる
か
分
か
り
ま
せ
ん
か
ら
ね





バグダッドですね

悪いけどオフィスへ
行ってちょうだい
PassengerBidが
予約されてるの



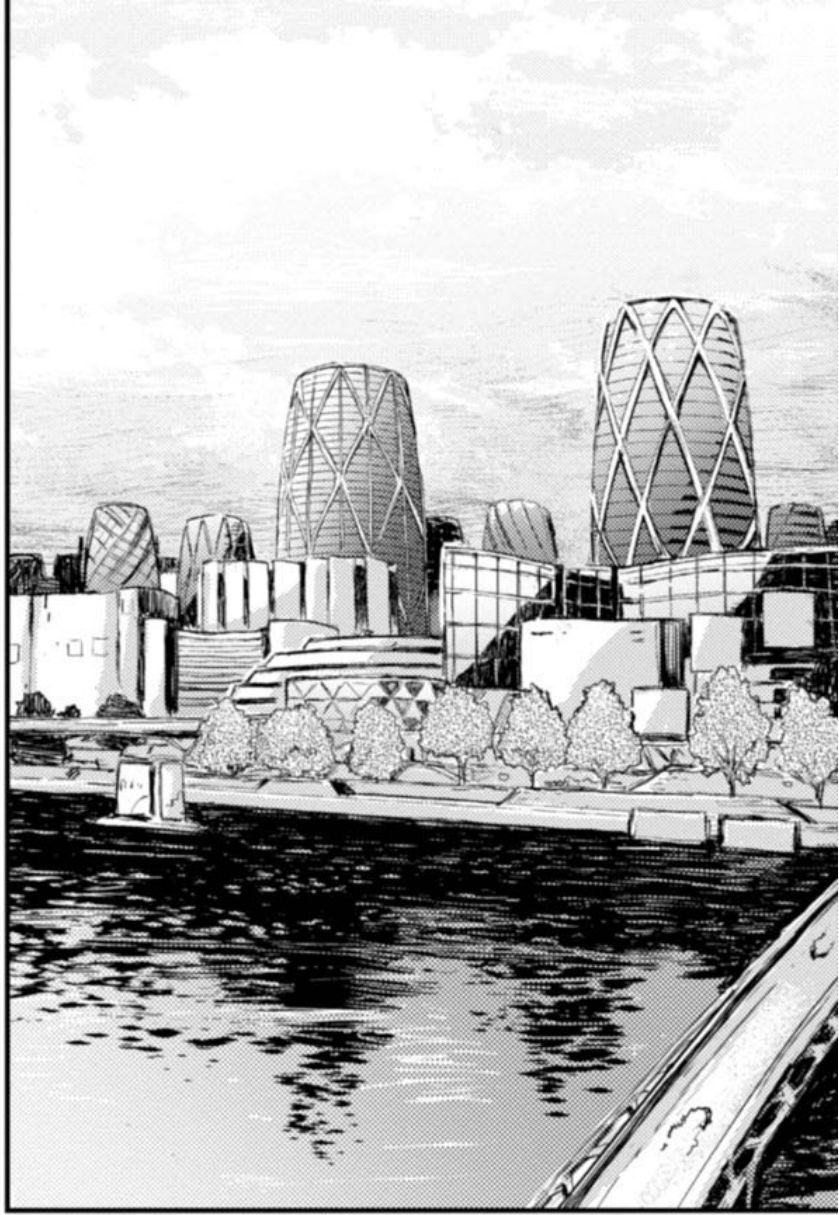
どうです
辺りをぐるっと
ドライブでも

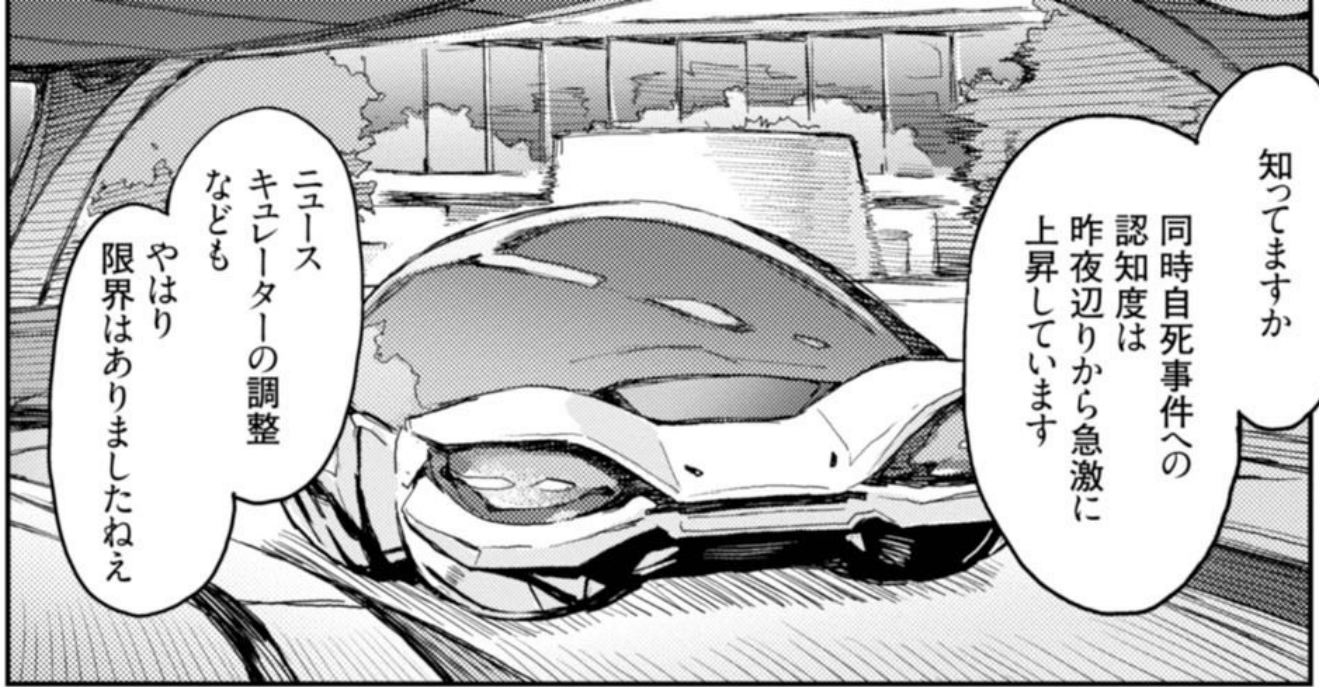
折り入って
お話したいことが
ありましてね



同乗させて
もらえませんかねえ

空港までの道中で
構いませんので





知ってますか

同時自死事件への
認知度は
昨夜辺りから急激に
上昇しています

ニュース
キレーターの調整
なども

やはり
限界はありましたねえ



病気に一生
罹ることもなく
嫌なものは一生
見なくて済む

そう思つて
生きてきたわけ
ですからね



皆怯えて
いるんですよ

目の前で誰かが
死ぬことに
それが自分にも
起こりうることに

セラピーは
すでに予約で
いっぱいとか



他者を信用しなければ
ならないという強迫観念

そうして穏やかさを
維持してきた社会

事件によって
この社会のあり方は
ほんの少し歪められた

今日は昨日と
違う日だったと

他者は本来
得体の知れない本質
だったと思ひ出す

突然目の前で
命を絶つような誰かを
どうして
信用できるだろうか

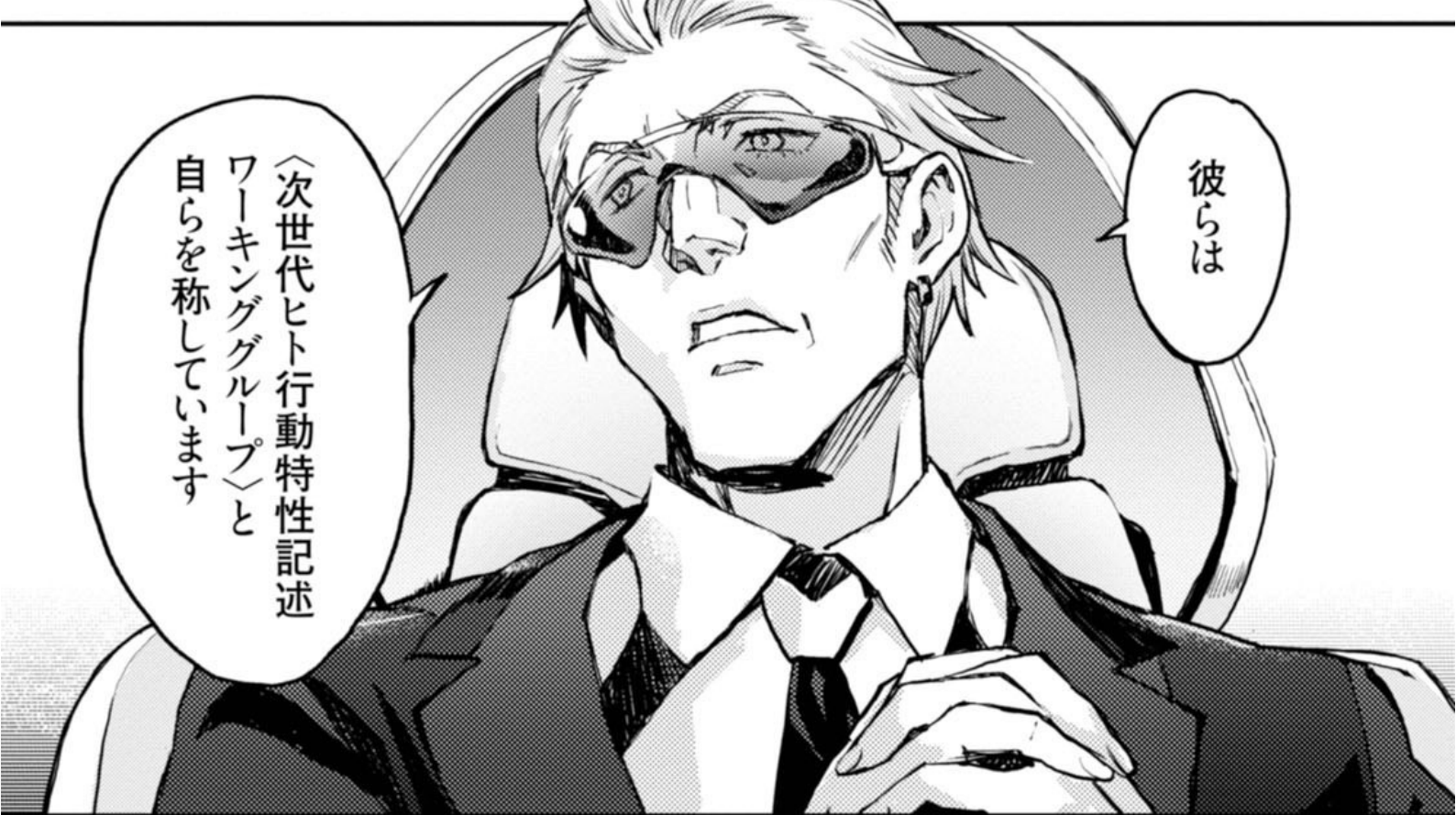




生府有力者
医療産業複合体のトップ
一部の科学者等を
構成員とする組織です

彼らはWatchMeを
利用して

すべての人類を
監視下に
置こうとしてきた



彼らは

〈次世代ヒト行動特性記述
ワーキンググループ〉と
自らを称しています



人類が再び
〈大災禍〉の混沌へ
帰すことを恐れる
老人たちです

〈大災禍〉の原因に
ついては
諸説ありますが

ともかく人類の脳が
あれほど野蛮へと
還ってしまうことは
実証された





あの日彼らは
システムの実証実験を
秘密裏に行い
そして概ね成功させた

対象者が自殺する
という
予想外の実証と
なった点を除けばね



当然の反応では
ありません

しかし二七九六人の
自殺者が発生した
原因が不明なことに
変わりはない

違いますか



……
インターポールが
陰謀論とはね

どう判断した
ものかしら



あの事件は
不慮の事故だったと
……

可能性はあります
しかし

我々の見立てでは
グループ内に何らかの
対立があったようです

目的を共有しつつも
やり方をめぐって
本グループと対立する
分派のようなもの

それらが

対立の趨勢に影響を
与えようとした結果が
先の事件だとしたら

まだ展開する
恐れがあると
……

…誇大妄想ね

羽田空港
10

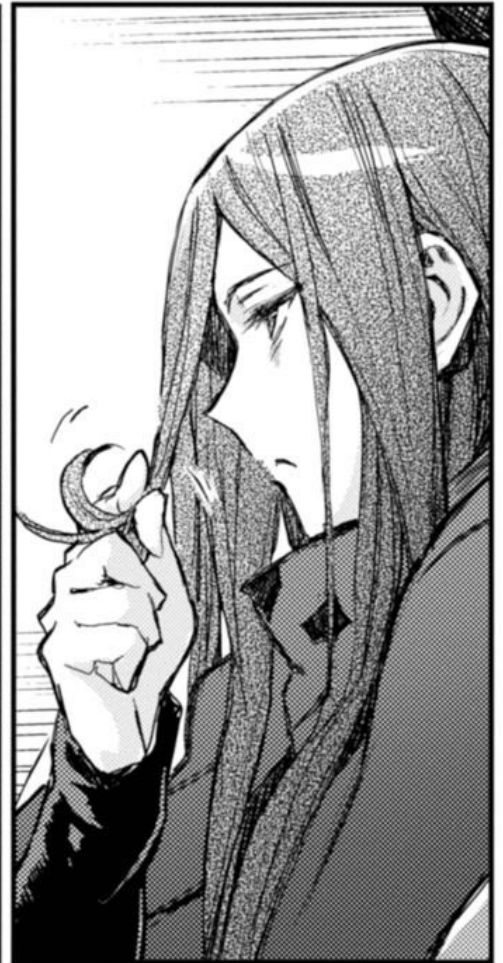
いずれにせよ
我々としては

本状況における
主プレイヤーである
螺旋監察官と個別に
パイプを持つておきたい

インターポールは
WHOが刑事事件にまで
介入してきたことを
快く思っていません

生命主義の権威拡大を
図る茶番劇だとね

それで
わたしという
わけ……





例え話でなく
より露骨な意味での
人質だったわけか



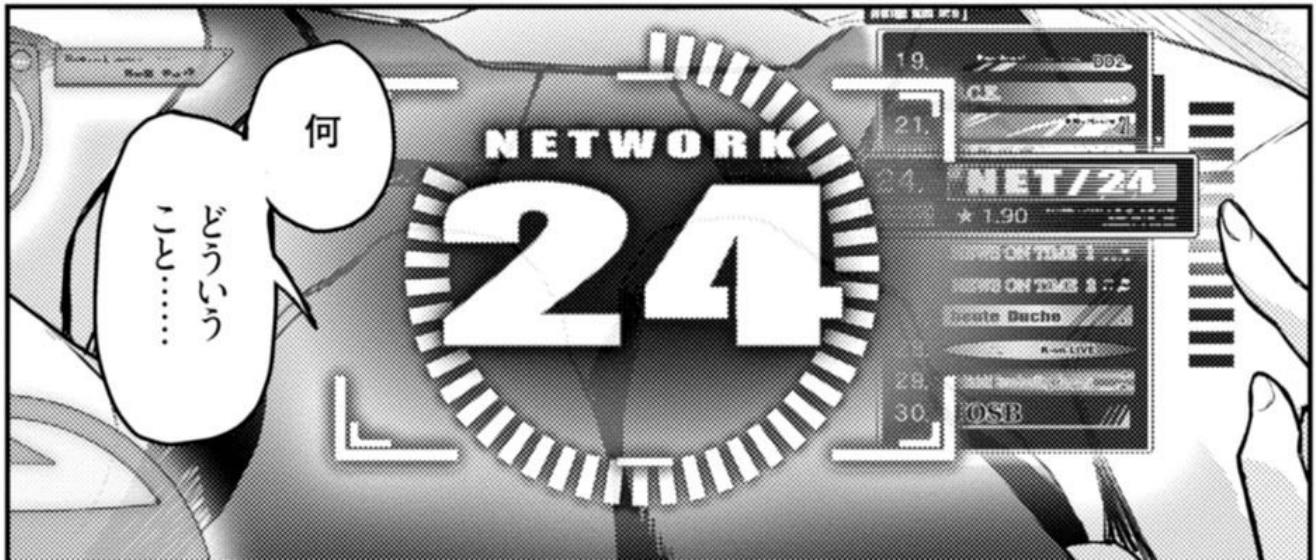
自分の脳も
自分たちが築き上げた
この社会も
信じていない連中

自分の意志すら
揺るがすシステムが
身体の中に築かれている



すぐ
見てください

ネットワーク24
緊急報道です



何
どうして...?

19. ...
21. ...
24. **NET/24**
★ 1.90
NEWS ON TIME 1
NEWS ON TIME 2
Dante Duché
KAWAII
28. ...
30. **OSB**



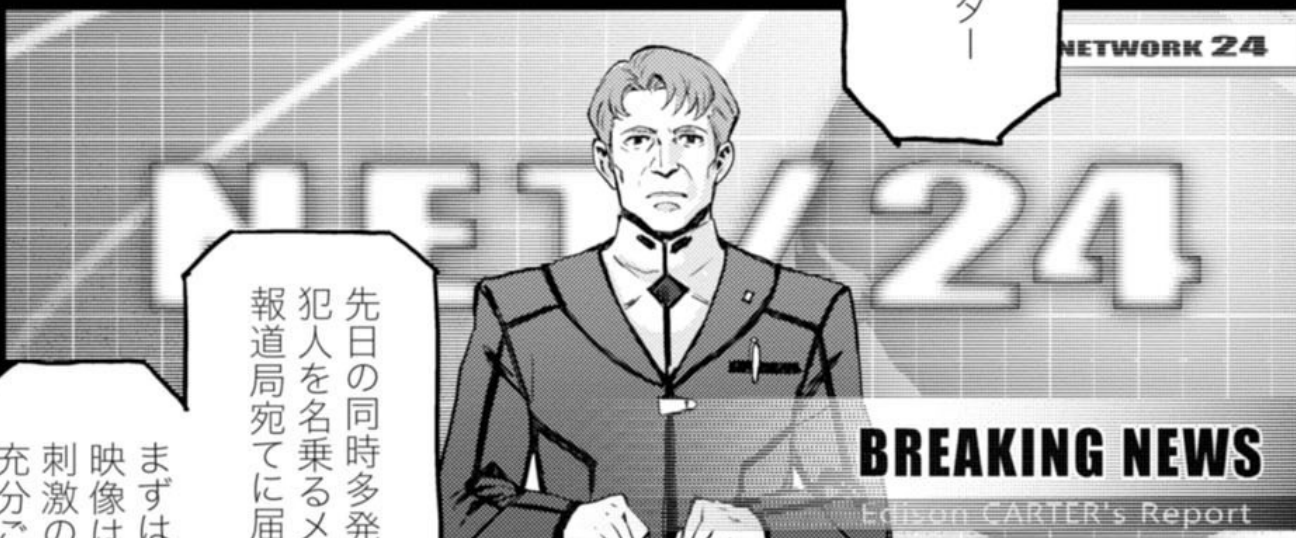
犯人からの
メッセージを
放送すると
言っています

<log:media=Network24:id=225-78495hu6r-yti5h23j-09>



こんにちは
ネットワーク24
緊急報道

エディソン・カーター
です



NETWORK 24

BREAKING NEWS

Edison CARTER's Report

先日の同時多発自死事件の
犯人を名乗るメッセージが
報道局宛てに届きました

まずはお聴き頂きます
映像はありません
刺激の強い内容を含みます
充分ご注意ください



VOICE ONLY

VOICE ONLY



VOICE ONLY



VOICE ONLY

VOICE ONLY

この前は
大勢の人が
死にました

たくさんの方が
同時に自らの命を
絶ちました

NETWORK 24

VOICE ONLY

皆さんは
目の前で誰かが
不意に
死ぬという可能性に

大きなショックを
受けたでしょう


NETWORK 24

それは
わたしたちが
やったことです

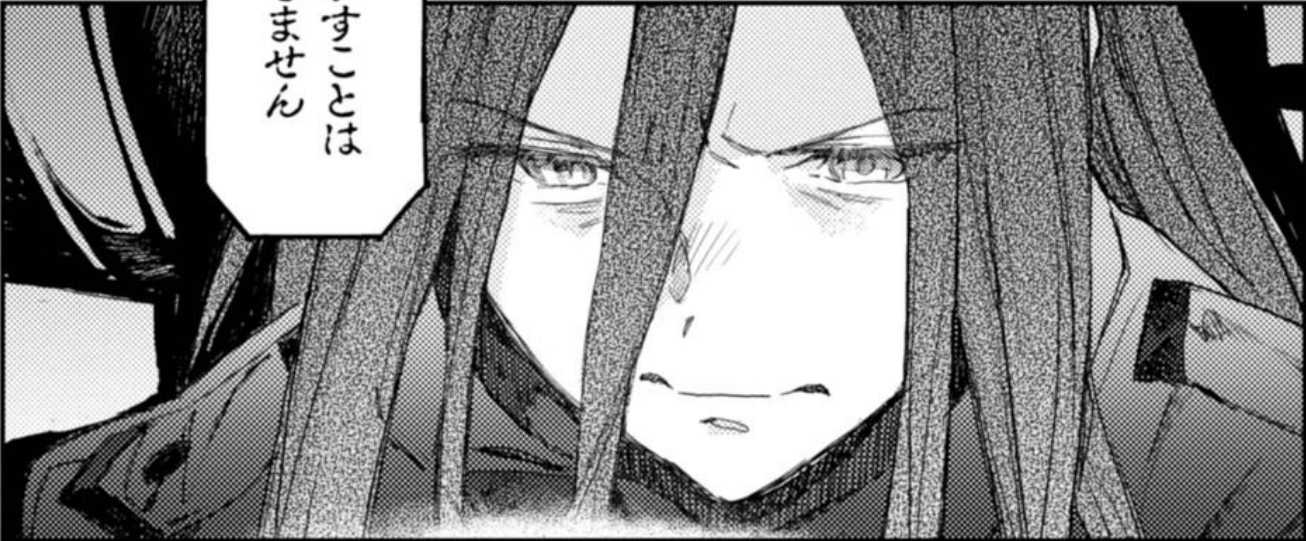
NETWORK 24

VOICE ONLY

どうやったか
それはいまのところ
秘密です



しかし
その仕組みはすでに
皆さんの脳に
深く根をはっています



剥がすことは
できません



VOICE ONLY

皆さんは
すでに

わたしたちの
人質なのです

ARK 24

LIVE STATION 1741.514 NET/24

29. Worldwide
30. TOSB

<harmony/> Project Itoh



<part:number=03:title=Me, I'm Not/>

16



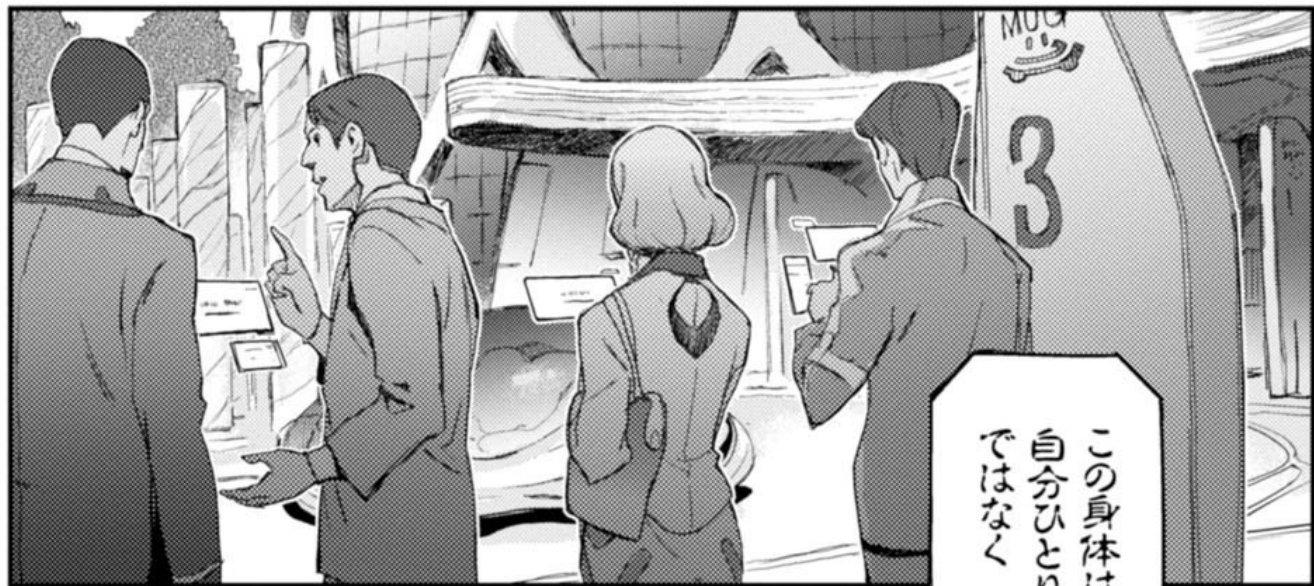


どこに書いてあるわけでもない

法律ですらない

そんな規律や『空気』に縛られて

誰も本音を言うことができません



この身体は自分ひとりのものではなく



社会の重要なリソース
公共的体身なのだ
という教育を

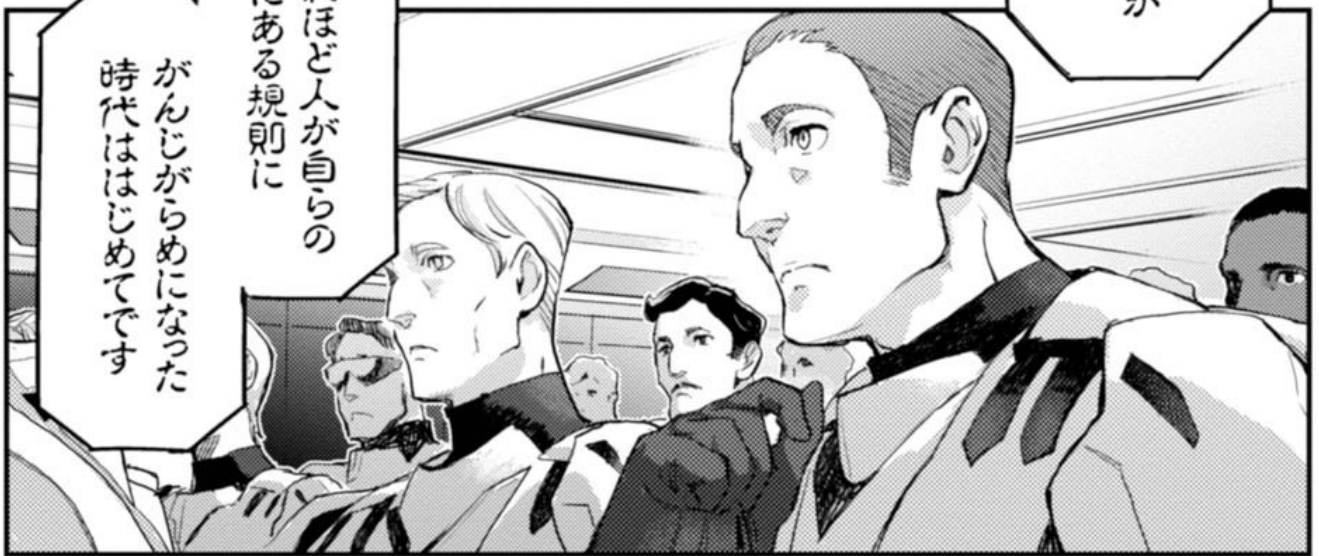
子供の頃から受けています



自殺率の上昇は
皆さんも聞いたことが
あるかもしれません

これほど人が自らの
内にある規則に

がんじがらめになった
時代ははじめてです



これほど
明文化されていない
決まりが増えたのは

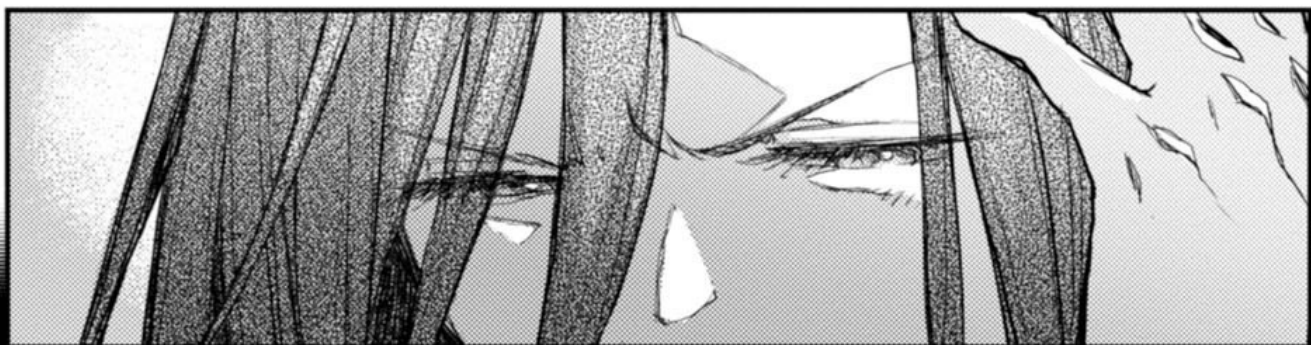
人類史上
はじめてです

皆さんはこの
『空気』に縛りつけ
られた社会から

逃げたがって
いるんです

VOICE ONLY

</log>



<log:archive=ICPO-casefiles:case=2073t413:material=007612>





これから
一週間以内に

誰か
ひとり以上を
殺してください



そのためにはまず
皆さんに
それができる人であることを
示してもらわねばなりません




自分自身の
ためならば

他者など
どうでもいい
ということを証明
してください



できない人には
死んでもらいます



いちばん大切なのは
自分の命だという
感情を
解放してください

もしあなたが
ほかの誰かの命を
奪うことに躊躇したら

たとえ自分の命を
助けるためですら
躊躇したとするなら

そのときには
わたしたちは容赦なく
あなたを殺します

自分で自分の命を
奪うように仕向けます

VOICE ONLY

VOICE ONLY

繰り返しますが
わたしたちには
それを実行できる
力があります

信じてもらえるよう
それを実証する映像を
お見せします

おそらくは
一瞬しか映りません

目をこらして
見逃さないように
してください

VOICE ONLY

VOICE ONLY

</log>

<log:media=Network24:id=225-78495hu6r-yti5h23j-09>

以上が
犯人を名乗る人物
からのメッセージ
でした

これはメモリセル
物理メディアでもって
報道局に送付された
ものであり

通常のデータ送付
のようなID表記は
ありません



NET 24

なお
ファイルは
このメッセージ
のみであり

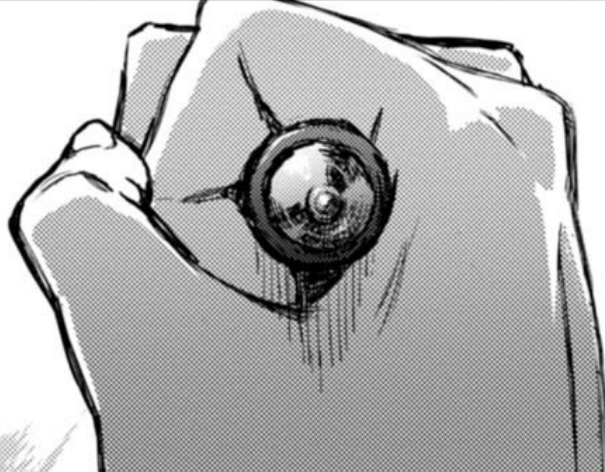
メッセージ内で
示された映像データ
ないし
それに類するものは

現時点では
送り付けられて
おりません

NET 24

この
意図すると

こ





</log>

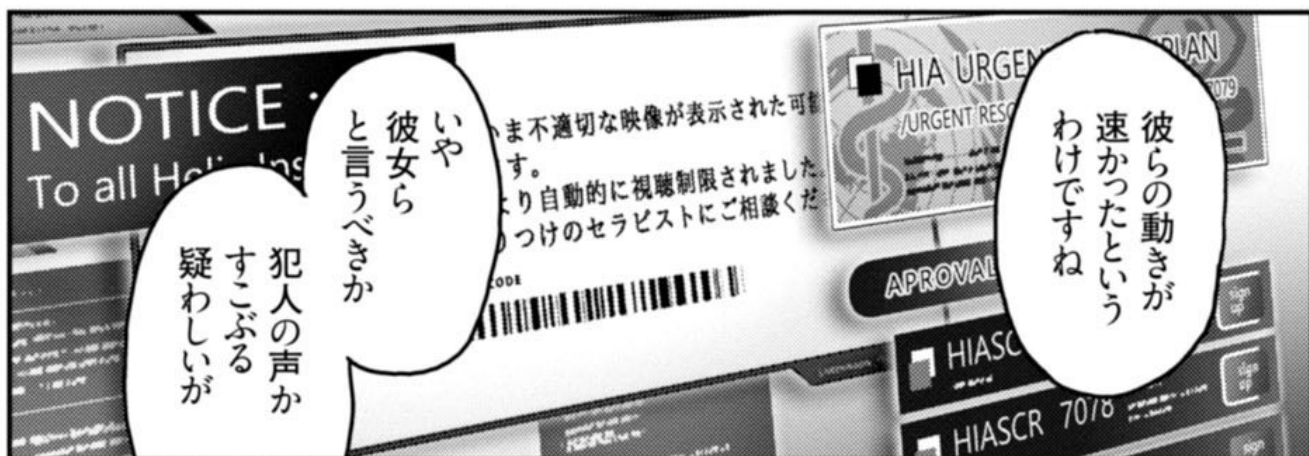




……宣言

なんてことだ

くそ
見ちまった



犯人の声か
すこぶる
疑わしいが

いや
彼女ら
と言うべきか

彼らの動きが
速かったという
わけですね



そのリストに
該当者はいないのだろう

公式ルートで
そちらにも資料として
行くと思います

物理メディアの
鑑識と

さらに
絞り込まれるでしょう

近しい声質の人物が
速報で五二六七名



そして

おそろくは

<harmony/> Project Itoh



犠牲者は
ルイジ・ベルコッティ

<part:number=03:title=Me, I'm Not/>

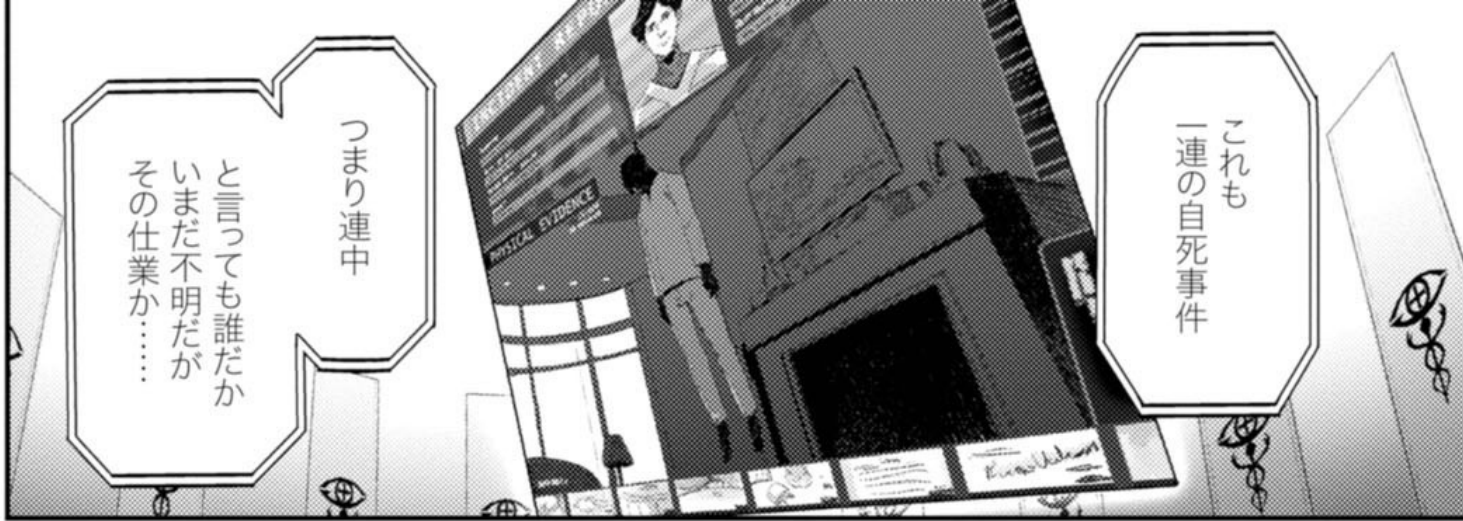
17



ウエイランド生府
イタリア国籍
ボランティアリソース
マネージャー

同居の配偶者と子の
外出中に
自宅で首を吊り死亡

状況は
自殺を推測させます



<list:item>

<i:自分は誰も殺すことができないだろうということ>

<i:仮に殺した後その良心の呵責に耐えられないであろうということ>

<i:自分は確かに公共的身体であるかもしれないが、他者もまた同様であること>

<i:自害する以外に、このジレンマを解消する方法が見あたらないこと>

<i:「犯人」と名乗る連中に殺されるのはまっぴら御免であること>

<i:妻と息子、そして隣人らに対して、自殺という道を選んだことへの謝罪>

</list>



実にまずいな
連鎖が誘発されうる

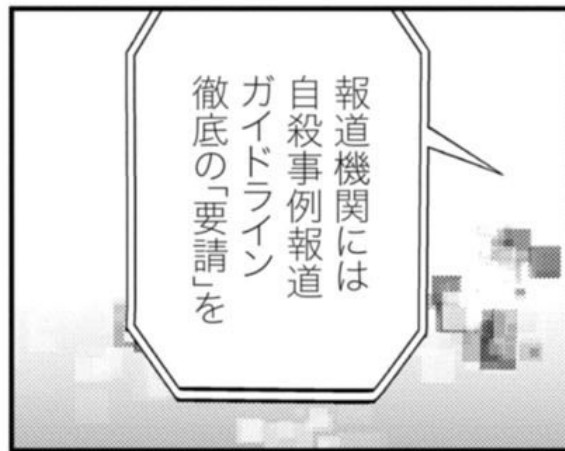
想定された事態だ
善良な生府社会市民
だからこそだ

殺す殺される
思い悩んだあげく
自ら命を絶つ



直近の
カウンセリングでも
特に異状はなく

メンタルスコアも
平均を大きく
下回るものでは
ありませんでした



報道機関には
自殺事例報道
ガイドライン
徹底の「要請」を



事実の公表には
「専門家」と連動
すること



ウェルテル効果

「専門家」とは
螺旋監察官です
よろしいですね

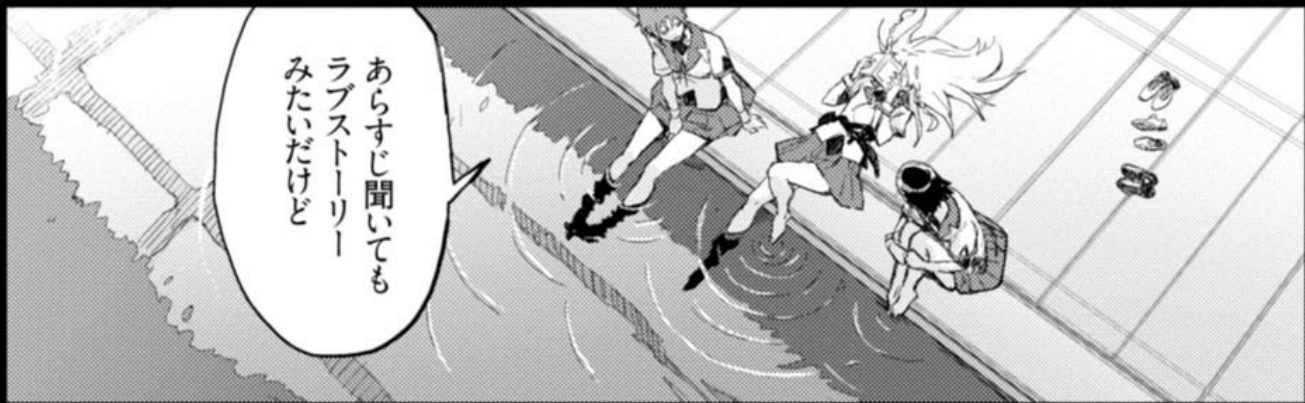


何人もの人間を
殺したんだ

この本って
すごいんだよ



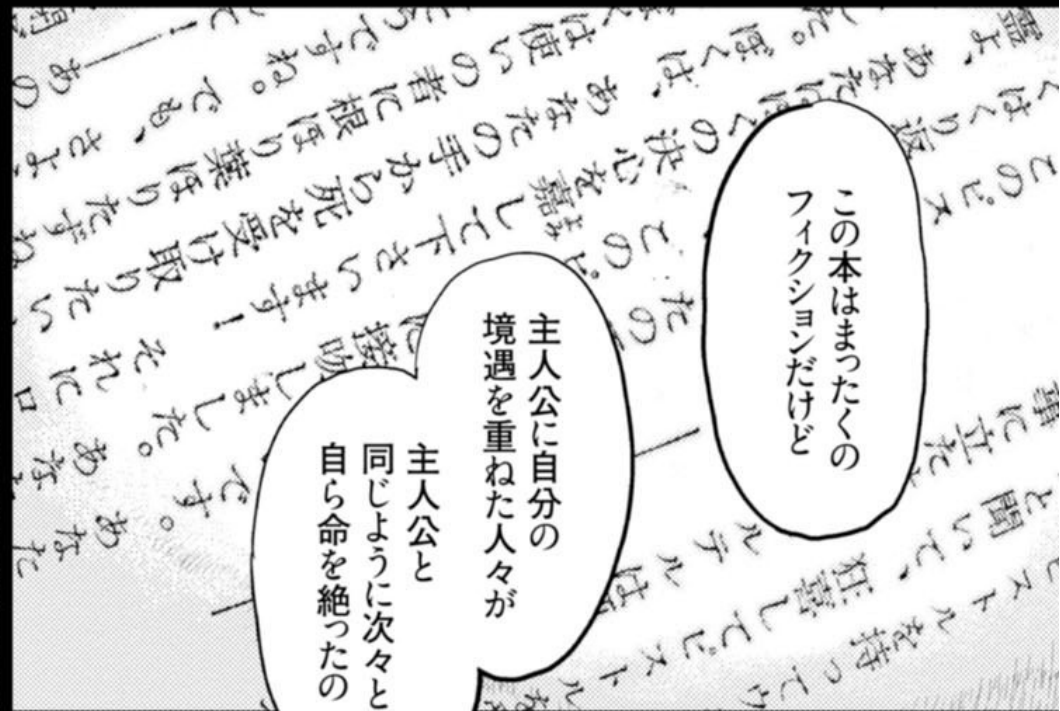
「若きウエルテルの悩み」



あらずじ聞いても
ラブストーリー
みたいだけど



すごいでしょう
トアン



この本はまったくの
フィクションだけど

主人公に自分の
境遇を重ねた人々が
主人公と
同じように次々と
自ら命を絶ったの



人を殺す力が
宿ってるんだよ

本には
言葉には

</recollection>



WatchMeをオフにして
サーバとのリンクを
切り離せば良いのでは
ないか

それは難しいだろう
充分な保健医療を
提供できなくなる
ばかりではない



買い物も移動も
WatchMeによる
グローバルDを
必要とする

食べ物を得るのも
家に入ることも
できないだろう

危険にさらされる
人命も
六五八二人の比較に
ならない

将来の保障
共同体と
それに属する
他者との信頼

ヒッチホーム
倫理セッション
相互扶助と介助

異分子が跋扈
しているは
成立しない社会だ

スクナビコナはまだ
セキュリティホールを
解明できないのですか

脳に何か
作用したとしか
言いようがない

問題は
その作用だ

人為的な意図が
介入していることは
明白だ

閑散とした街を
見たか

不安が経済を
停止させている

恐慌寸前だ
いつ誰が誰を
襲うかしのれない状況が
続くものならばな



霧慧トアン
上級監察官の
報告によれば

脳内における
人間の意志が
発現する機構の

精密なモデルが
すでに存在する
そうです



ロシアの脳科学者
セルゲイ・ゴルルコビッチ・
ジルジエンスキー

中脳の報酬系と
呼ばれる領域の
振る舞いに関する
論文

高精度で心理機制を
モデリングできる
とか



人間の意志の
モデリング……

コントロールできる
可能性もあると
いうことかな

調査中ではありません
しかしながら

その論文は脳科学分野に
広く関連するもの
基礎的研究であり

最近ではセラピーなどでも
一部応用され利用され
ているほど
すでに共有された知識です

ONE to ONE
Live TALKING
CLOSED SECTION

現時点で
犯人に繋がる
ものではないと
……

そうであるとしても
なお多くの応用研究を
当たっていく必要が
あるでしょう

では
こここのところの
あなたの行動は
何だと言いつの

随分と
確信めいたものを
感じるのだけど



報告します
至急



より詳しい人物に
コンタクトを図って
いるだけです
確かな情報が
あるわけでは
ありません

何が確かだ
何が
そうでないかは
わたしが判断
するべきです



他に足がかりが
ない以上もっと
人員を割くべきだ
情報を共有した
ほうがいだろう



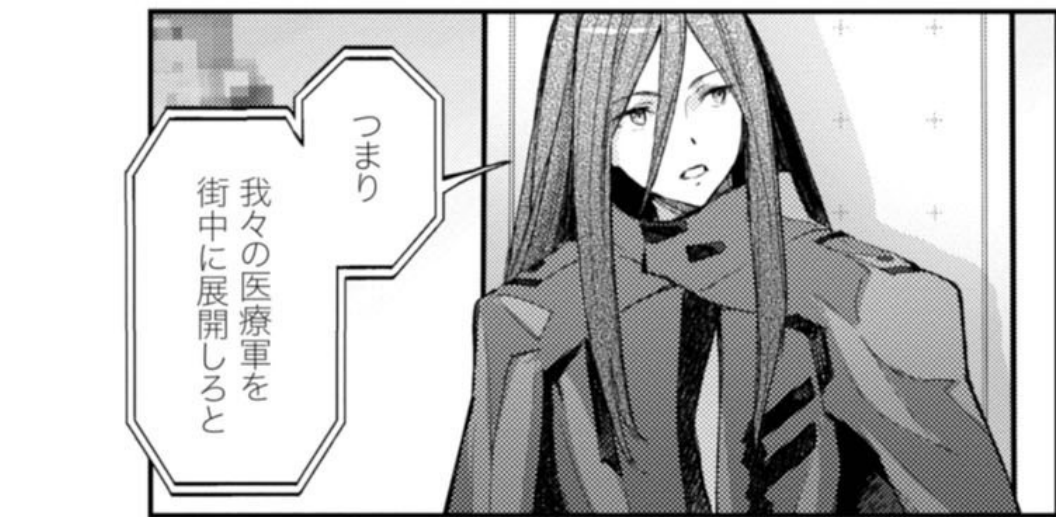
「当生府は今後懸念される
生命権侵害の不安を鑑み

生府合意員生活圏においても
ジュネーブ条約軍に
その責務を全うすることを
希望する」



キャリコ
エコシステム
北中米の地域生府です

その合意員が
有効な合意に達した
と宣言しました



つまり

我々の医療軍を
街中に展開すると



ええ

各地の即応部隊に
治安維持任務の
準備をさせましょう
本格的な動員は
ともかくとして

各国政府及び
統治理事会には
戒厳令の発布を
求めています

大手生府の合意率は
一割程度ですが
きっかけがあれば
一斉に
合意へと至るでしょう

他の全生府に
同生府名義で発議し
同調を促しています



過剰反応
ではないか

主要多数な生府の
合意を待つべきだ

一府の合意程度では
政府も内政干渉を
主張せざるを得ない
ではないか

高度福祉医療社会での
大規模な動員を
医療軍の編成は想定
していない

どの治安当局も
軍隊も同様だろう
リソースの不足は
必至だ

適格のある
MRSの選定と

信頼のおける現地
国軍部隊との連携

予備役の招集と
指揮官の任命

各政府との
交渉



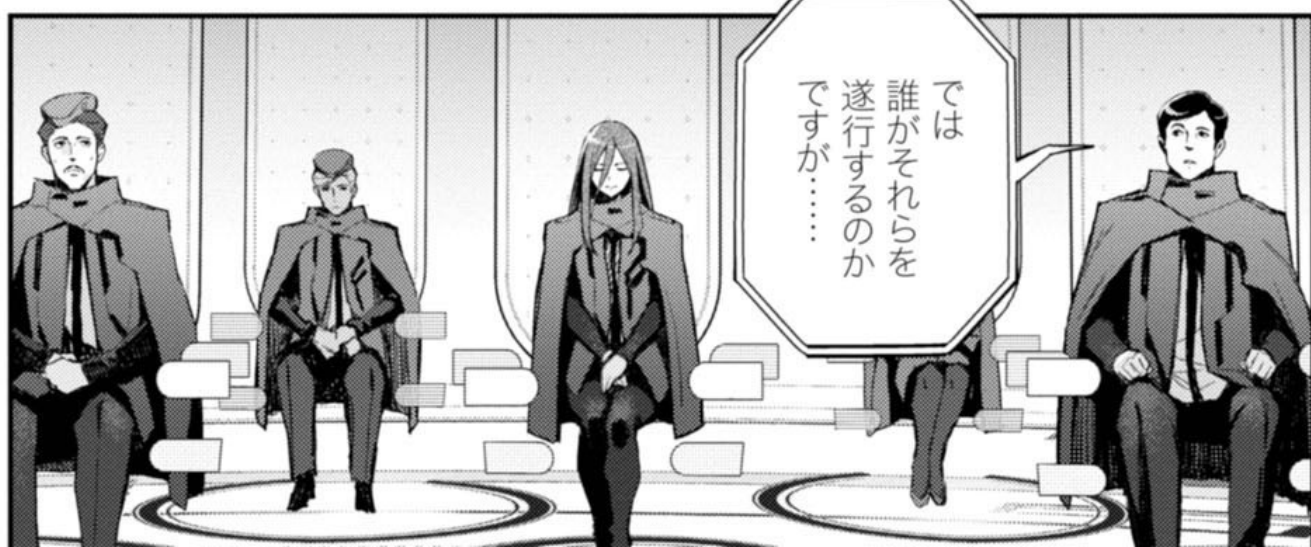
よろしいのですか
市民は自らの選択で
武装した兵隊を
目の当たりにする

〈大災禍〉の時代への
道を辿っている
ようにしか思えない



WHO頼るに値せず
という事態は
避けねばなりません

この社会と制度は
信頼に足るものだと
示し続けることです



では
誰がそれらを
遂行するの
ですが……



わたしを指名
なさいますか

そうですね

原理原則に沿って
いられる状況では
ありませんものね

いいえ
結構

あなたは
健康と素行不良の上
二日後から休養です

貴重なリソースを
与える余裕は
ありません



この件は
わたしに一任して
いただきます

大規模な動員と
なれば専従の者が
複数必要でしょう

その際は
わたしのスタッフが
担当者を選定し
追って任命します



霧慧トアン
上級監察官は
全員にレポートを
提供のこと

本日中に
お忘れなく

了解
しました

では各位

平和と健康の門番
として職務の遂行を

That concluded the SESSION
Thank you for your contributions.





急がなければ
ならない

「空気」の下
潜んでいた怪物が
むき出しになる前に



これで

猶予期間が
変わらないという
しばしの保証を
得たわけだ

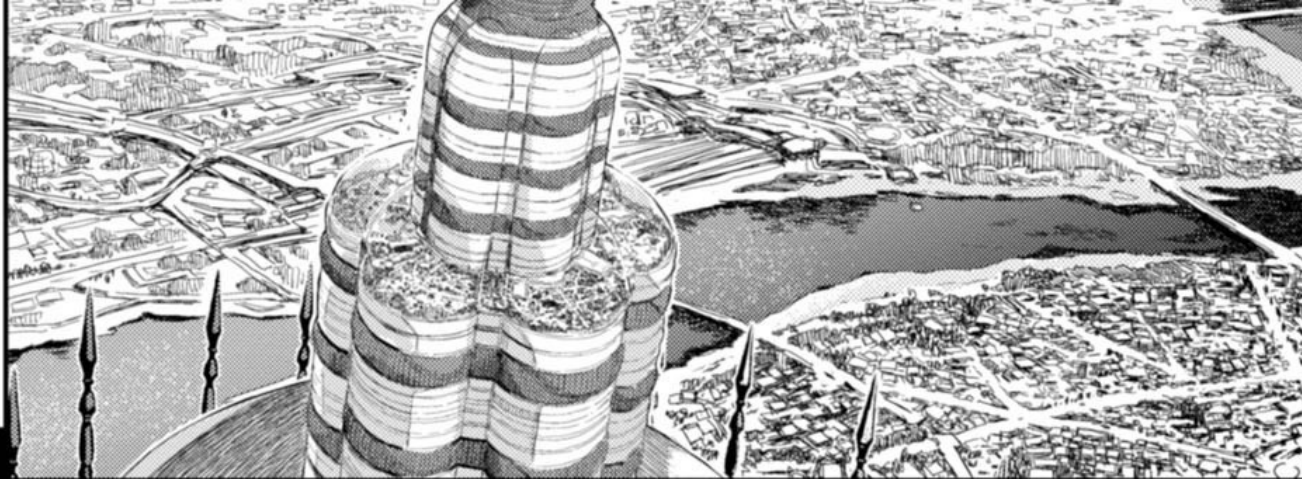
はあ



オープニング

BirdRiderより
お知らせいたします

ノーザンパッセージャーズ
DR947便
医療都市バグダッド行き
まもなく到着いたします

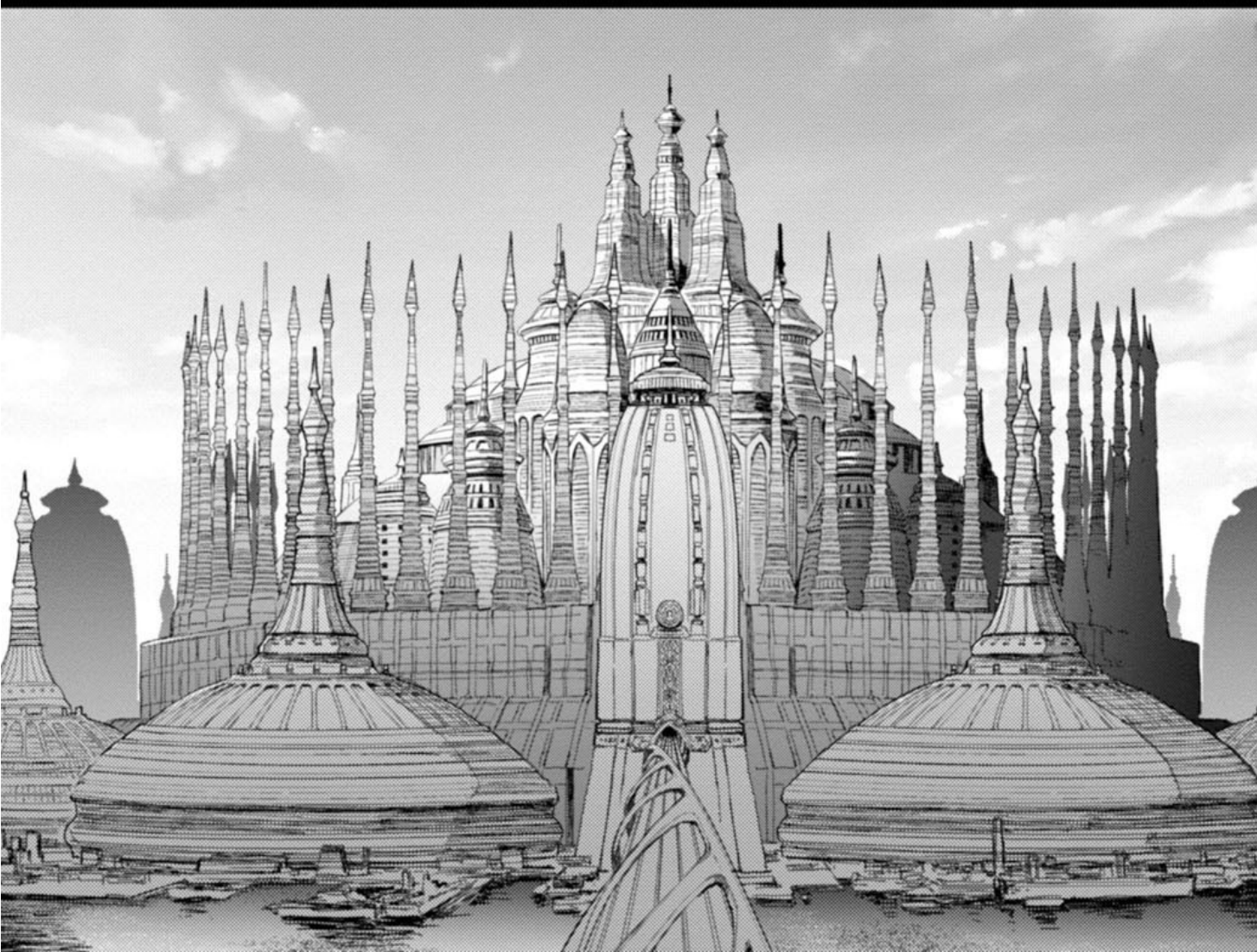


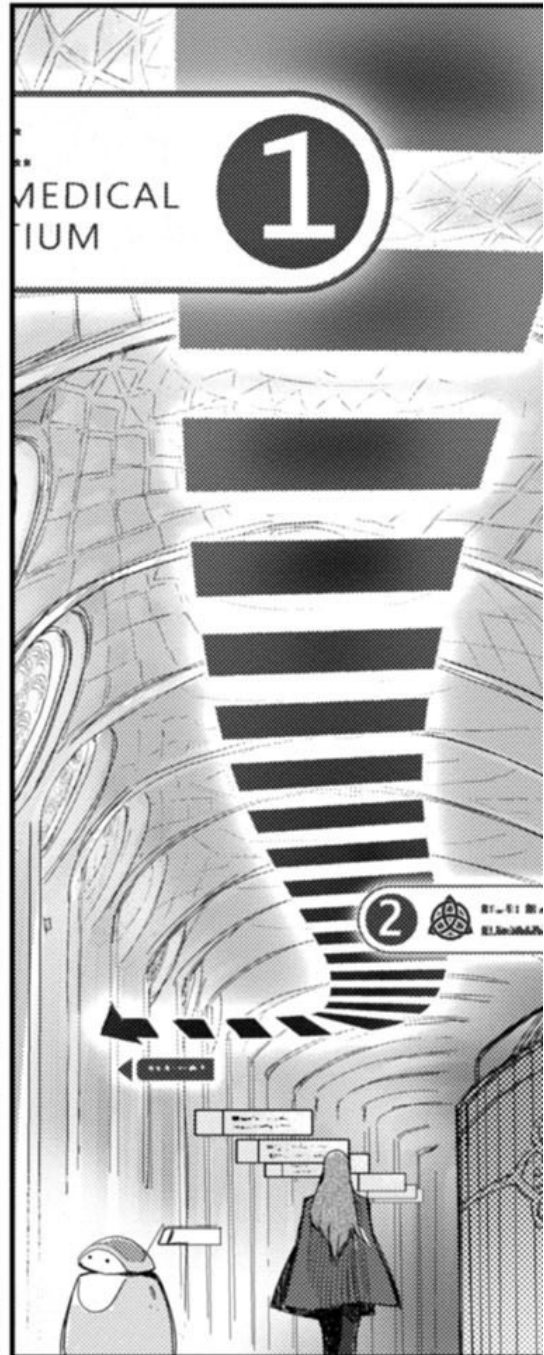
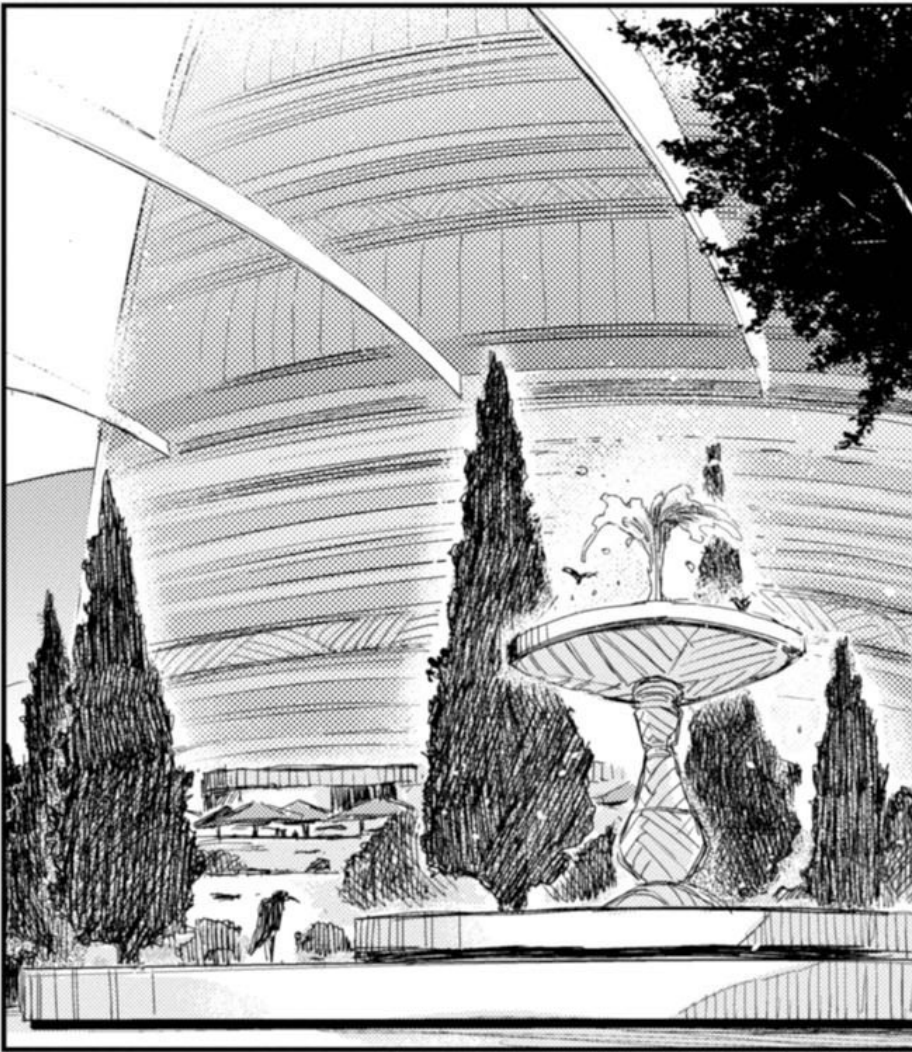
<dictionary>

<item> 【バグダッド】 </item>

<description>イラクの都市。イラク中央部メソポタミア平原に位置する。アッバース朝に建造された古い都であり、今世紀初頭の紛争と〈大災禍〉で壊滅状態に陥ったが、現在は「ディアン・ケヒト」と呼ばれる巨大施設を中心に医療資本が集中する大都市に変貌。医療資本を優遇する税制と人間を被験者とする医療実験に寛容な法のもとで、医療産業複合体や医療シンクタンク、研究機関が競って本拠地を置いたため、「医療のドバイ」とも呼ばれた。</description>

</dictionary>

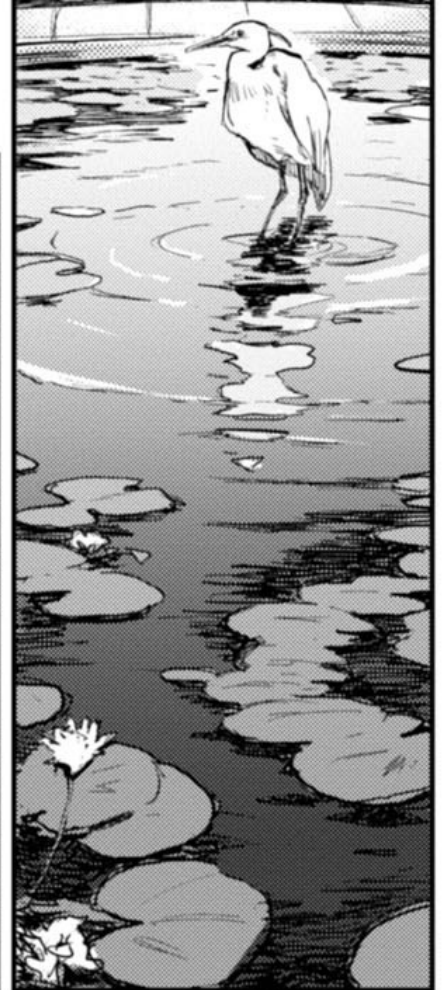






庭園にいますと

ここが建物の中だといふことを忘れてしまおうでしょう……



はじめまして

SEC脳医学
コンソーシアム
ガブリエル・エーディン
です

螺旋監察官が
急にいらつしやるなんて
つきり抜き打ちの
査察なのかと
思いましたわ

<harmony/> Project Itoh



驚かせてしまい
申し訳ありません
ドクターエーデン

今日うかがったのは
現在進行中の
事件に関連が
あるとみられる

セルゲイ：
ジルジエンスキー氏の
脳の研究についての
知見を授かりたい
ためです

<part:number=03:title=Me, I'm Not/>

18



報酬系領域の
挙動モデル

やっぱり
査察なの
これって……

いいえ

なぜ
そう思われますか



研究の概要を
教えてください
ますか

差し障りのない
範囲で結構です
ので

もともと
WHOに睨まれる
ようなことはして
おりませんけど



わたしたちは
まさにその
ジルジエンスキー
モデルの発展系を
組み立てているから



：

そうですね



人間は
目の前にあるものの
価値を過大に評価する

人間心理における
価値判断の
普遍的な性向について
の研究です

我々
脳医学研究
コンソーシアムが
行っているのは

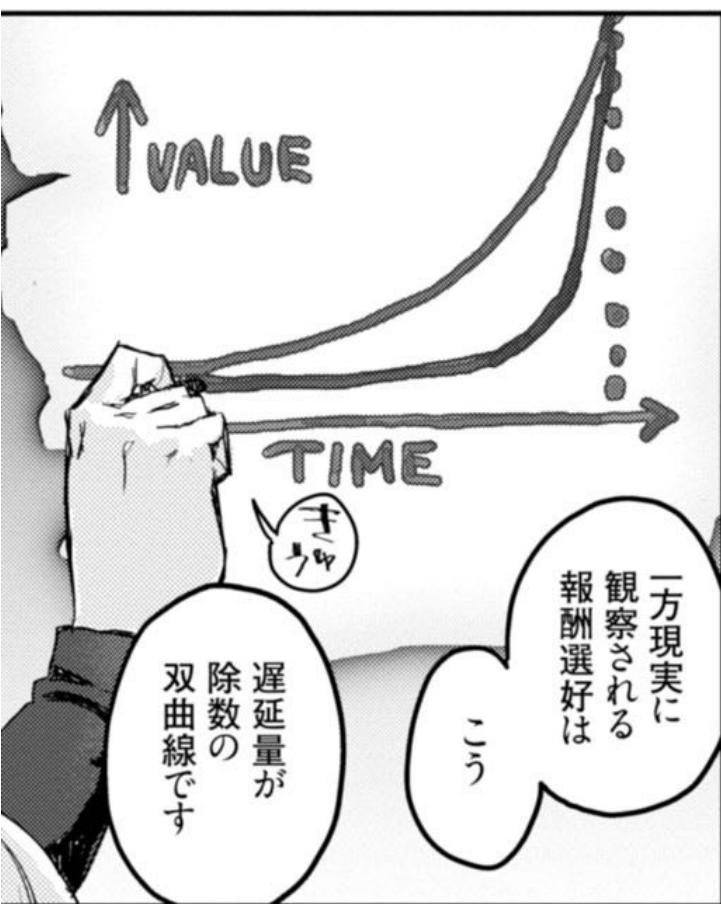


例えば

今すぐ手に入る
一万クレジットと
明日手に入る
一万クレジット

当然今すぐ
手に入るほうが
魅力的に感じる

しかし
一年後と二年後では
それほど価値が
目減りしたように
感じない

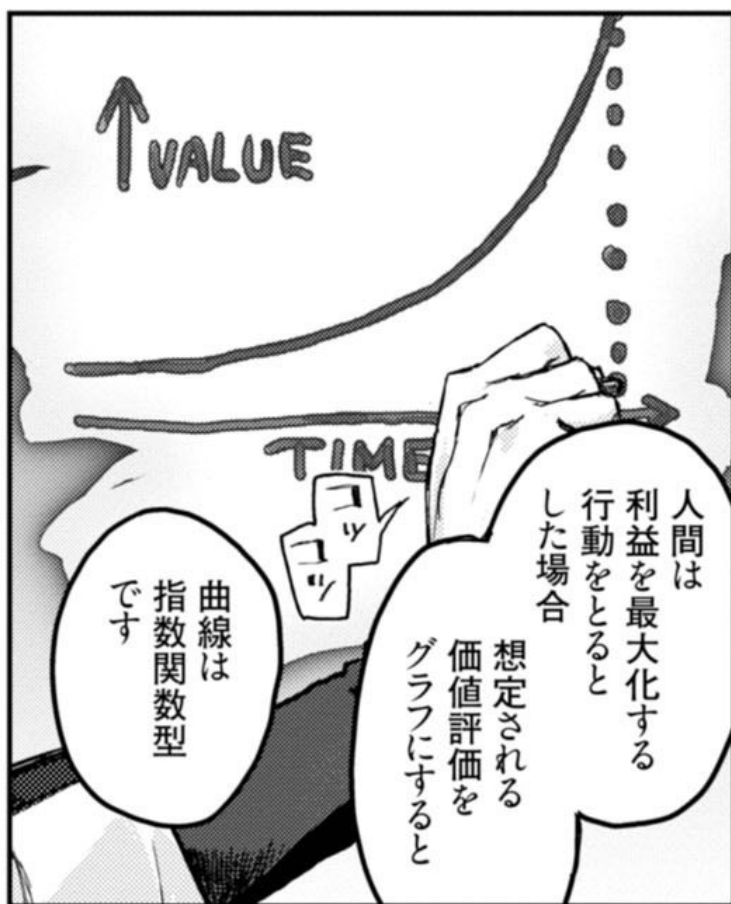


キッ

一方現実に
観察される
報酬選好は

こう

遅延量が
除数の
双曲線です



コッ

人間は
利益を最大化する
行動をとると
した場合

想定される
価値評価を
グラフにすると

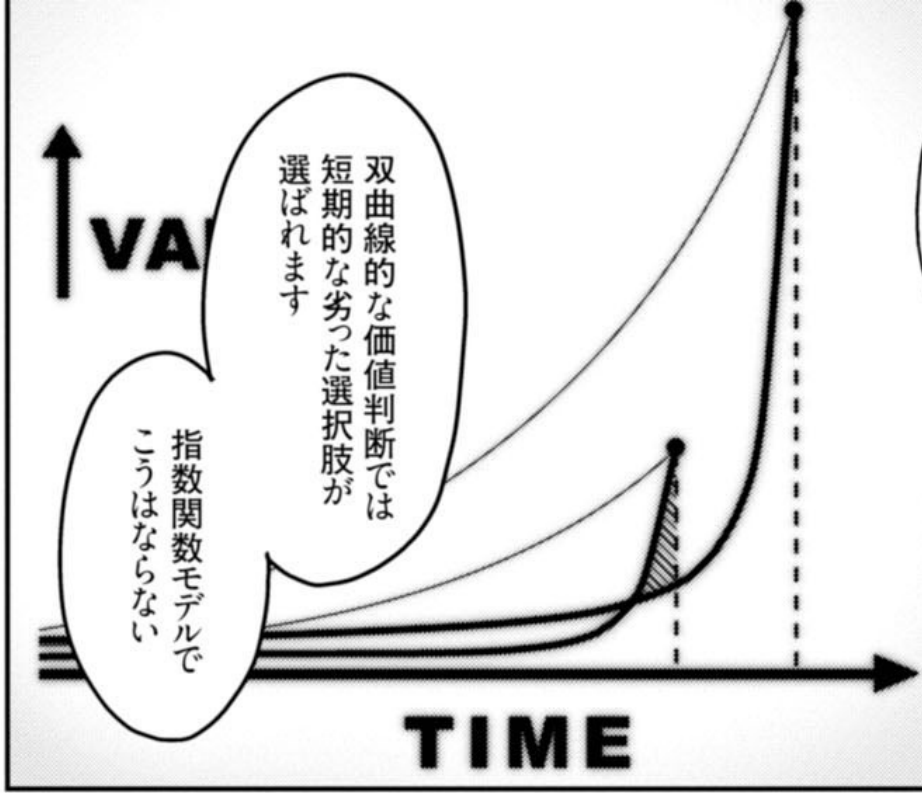
曲線は
指数関数型
です



人間と多くの動物は
価値を評価する時
将来に向かった価値の
減り方を双曲線的に
感じる傾向がある

逆に言えば
目の前の利益だけを
極端に大きく評価する

霊長類はもちろん
ハトやキジ犬猫でも
確認される
欲求の性向です



我々は実験結果に基づき
この双曲線割引を
モデルに組み込むことで

より実態に近い
「意志」の在り様を完成
しようとしている

これが
研究の概要です



先日の自死事件では
脳に何らかの介入が
あったとみられます

博士の研究分野は
この事件に接近した
ものに感じますが

いかがですか

確かにそうかも
しれませんね

それが
本題かしら

しかし

此度の事件と
我々の研究を
結びつけるのは
いかにも迂遠ですね

心理的薬理的に
意識状態を変性
させたと考えるのが
自然では……

その痕跡は
なかったの
ですか……



どうぞでしょう

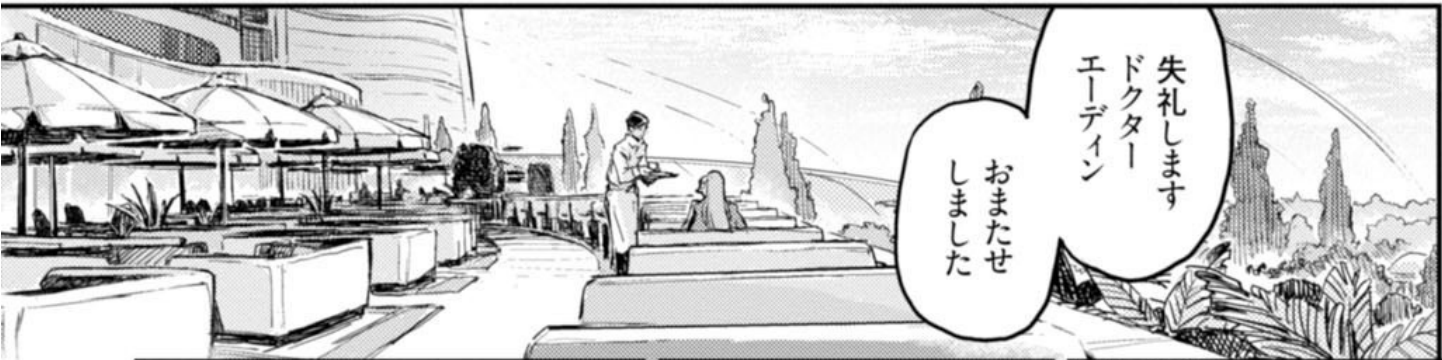
充分なモデルが
あったとしても

人を意のままに
操るには
技術的な跳躍が
まだ必要でしょうね



普遍的な意志モデルの
構築によつて

人間を意のままに
操ることは
可能になると
お考えになりますか
……



失礼します
ドクター
エーディン

おまたせ
しました



医療分子分野には
霧慧ヌアザ博士が
参加していましたね



どうも
ありがとう



あなたコーヒーを
見たら怒るような人
だったかしら

いえ
お気になさらず

むしろ
好きなほうです



ああ



ええ
初期には

霧慧博士が
おられたのは
かなり前の話です



.....

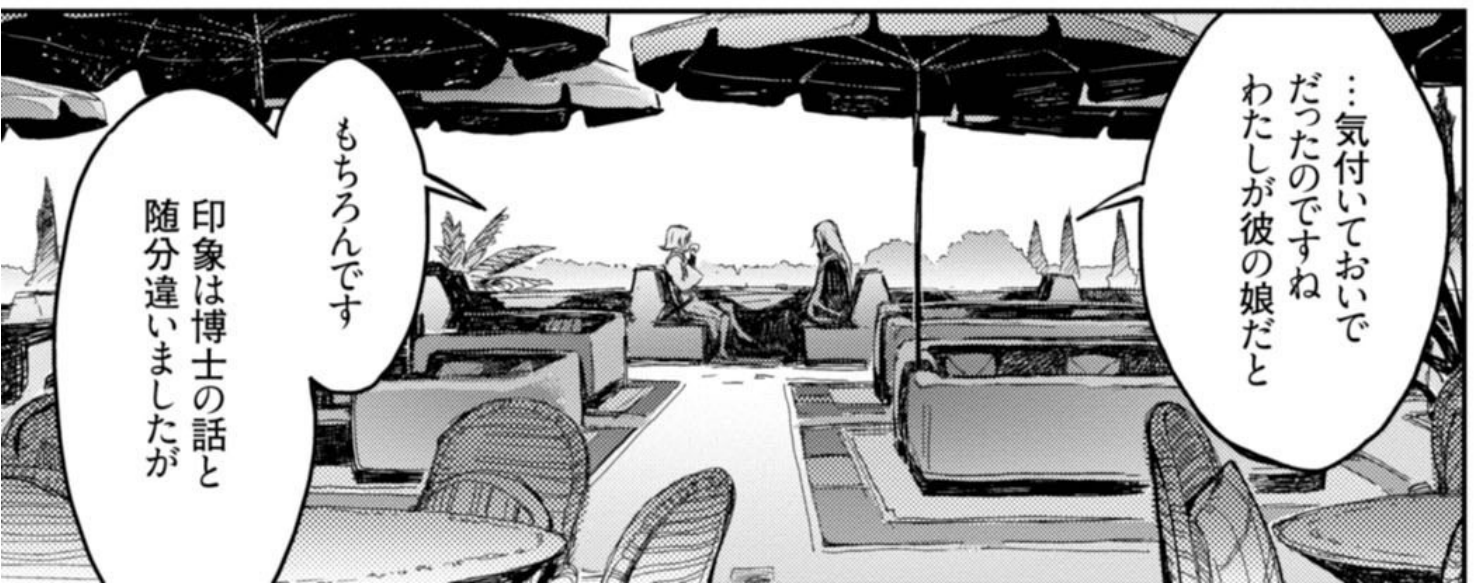
父は娘に対して
そのような感性を
持ち合わせては
いないでしょう



そう良かった

霧慧博士もよく
嗜んでおられました

ご息女が
螺旋監察官だからといって
理不尽な否定をされたら
悲しまれたでしょうから



……気付いておいで
だったのですね
わたしが彼の娘だと

もちろんです

印象は博士の話と
随分違いましたが

学生時分
お世話になった頃
あなたのことも
聞きました

おとなしくて
甘えん坊なので
心配だったとか

彼は
報酬系モデルを基に

他の研究をしては
いませんでしたか

分かりかね
ますね

螺旋監察官を
動かすほどの
具体的な何かが
あるのですか

それともまさか
個人的な人探し
かしら……

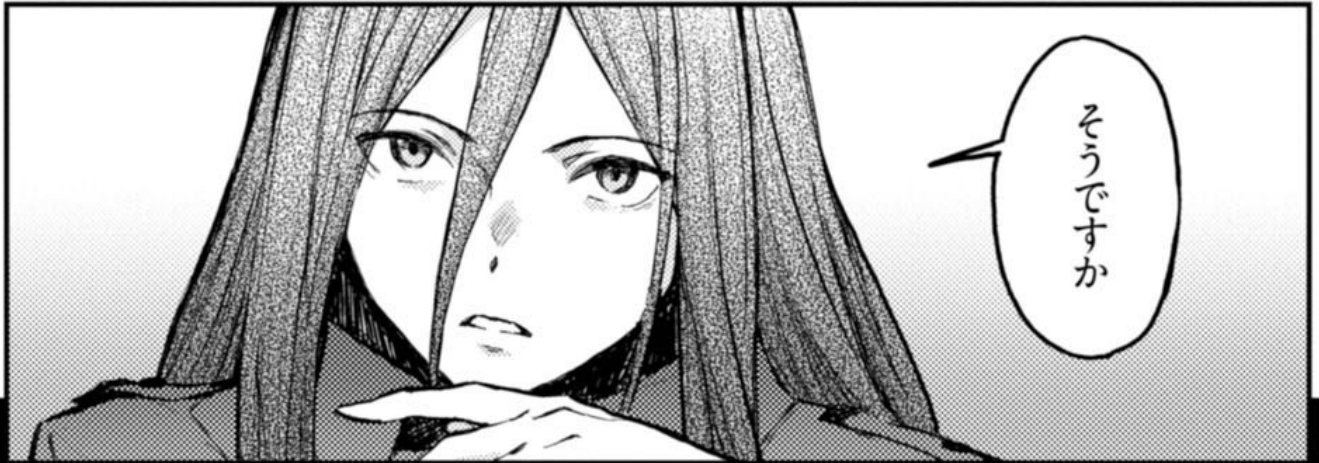
……

しかし残念ながら
お役には立てませんね

我々も博士の現在は
皆目見当が付きません
ので

あくまで
捜査対象の
ひとつです

WHOは
対象の身内を
担当者にする
おっしゃる



</distrust>



人間の意志だけでなく意識の在り方に関するより多くの応用が利くモデルを提供できるということでしょうか





しかし
意図的行動で観察される
報酬選択プロセスは

ごく短い双曲線
という形で
視覚聴覚臭覚といった
感覚にも適用される

我々のモデルが応用
できるでしょう



意識というものは
主観的なものであり
内的な経験であり

一般の物理現象を
把握する仕方は
馴染まない

かといって

内省によって
導き出されるものに
普遍性はない



感覚も意志によって
選択されていると……

例を挙げるならば
痛みですね

痛み……

わたしは「報酬」という
言い方をしましたが
これは一般的な用法
とは違います



でも
痛みは否応ない
ものですよ……


何かに関心が
集中している時
痛みが気付かなかった
なんていう話

聞いたことは
ありませんか



カチャ
関心を引き
強く印象づける
心理作用のことを
「報酬」と呼ぶのです

痛みもまた脳内で選択され
印象づけることを狙う
エージェントにすぎないの
です




エンドルフィン
の麻酔効果も
ありましようが

これは
痛みの報酬エージェントが
他の関心のエージェントに
競り負けたということだ

意図した選択はもちろ
ん抗いがたい衝動などより
ずっと時間軸の短い双曲線
ですので選好自体を
直感させません

これらの本質は
動機づけを狙うエージェント
という点で同じものです



我々の現実を形成する
すべての感覚が
選択された
エージェントの集合

視覚聴覚臭覚味覚
そうした刺激も
選択されなければ意識に
昇ってくることはない

もつとも
そうした刺激は常に選択
されやすい双曲線の様相を
みせますので
滅多に無視されませんが

ここでの研究は
ある意味
我々の意識だけでなく

現実がどう構成されて
いるのかといった
形而上的な意味すら
持ち得るわけですね



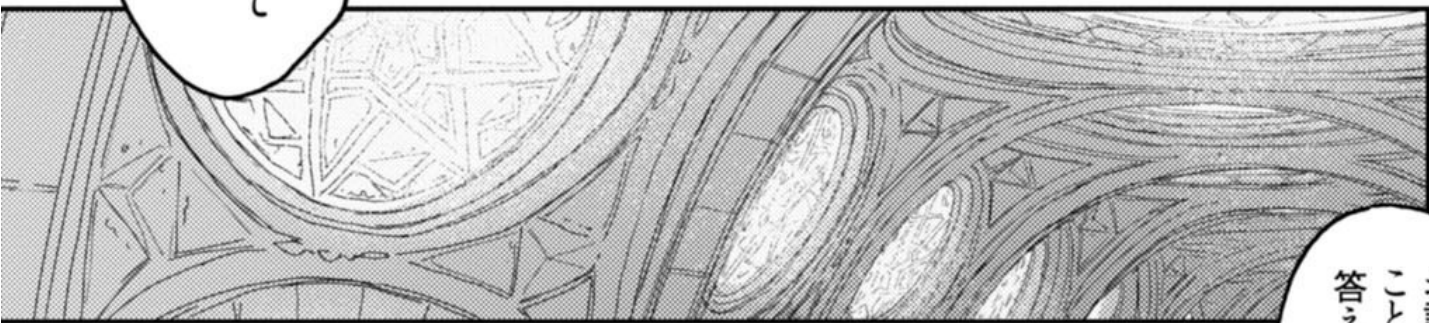
我々が持ち得る
現実など結局は

意識に限界づけられて
いるのですから



意識と現実とは
同じ意味じゃ
ないでしょうか

霧慧監察官



そのときは
よろしくお願
いします

ええ
またおうかがいす
るかもしれませんが

よろしければ
このへんで

お訊ねになりたい
ことには
答えられましたかしら



ところで

エーディンさんご自身は
どうなさいますか
犯人が宣言した期限の
訪れる日まで



犯人は実際に人を
自殺に導くことが
できるのかもしれない

ネットワーク24の
キャスターのように



どうもいません

あんなの
脅しにすぎない
でしょう



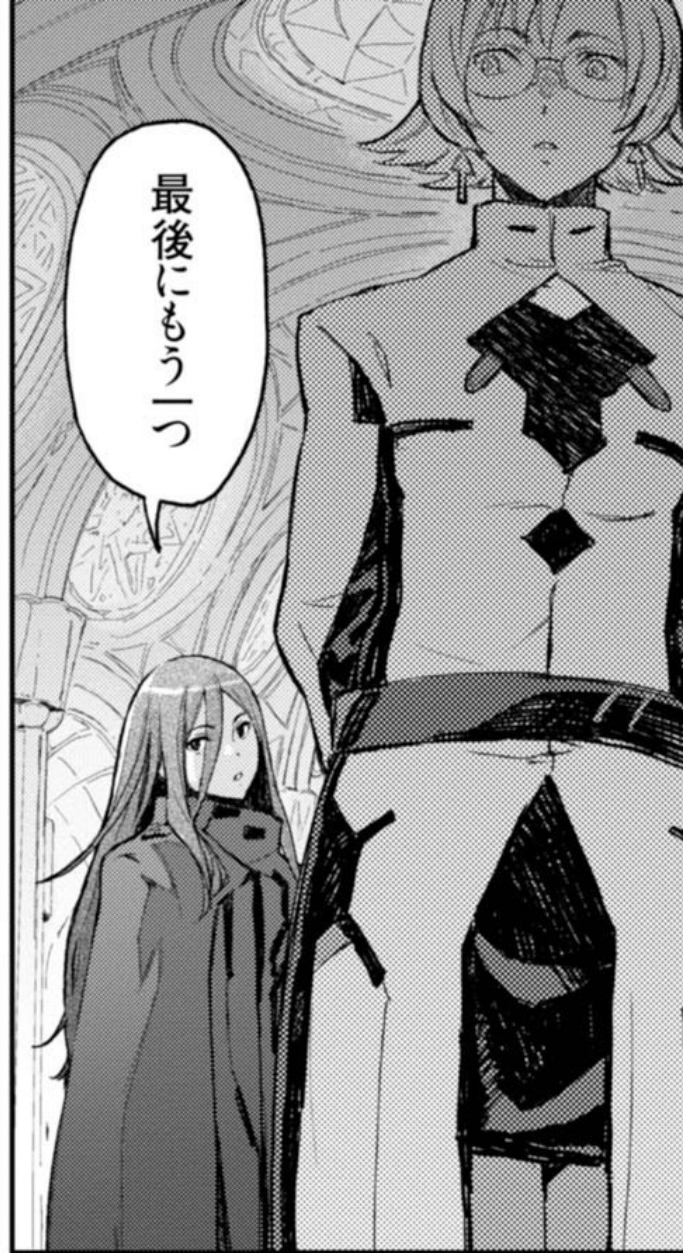
それこそ
生府の合意員たちが
公共的な勇気を示す
べきでしょう

我々の社会は
誰にも屈しないと

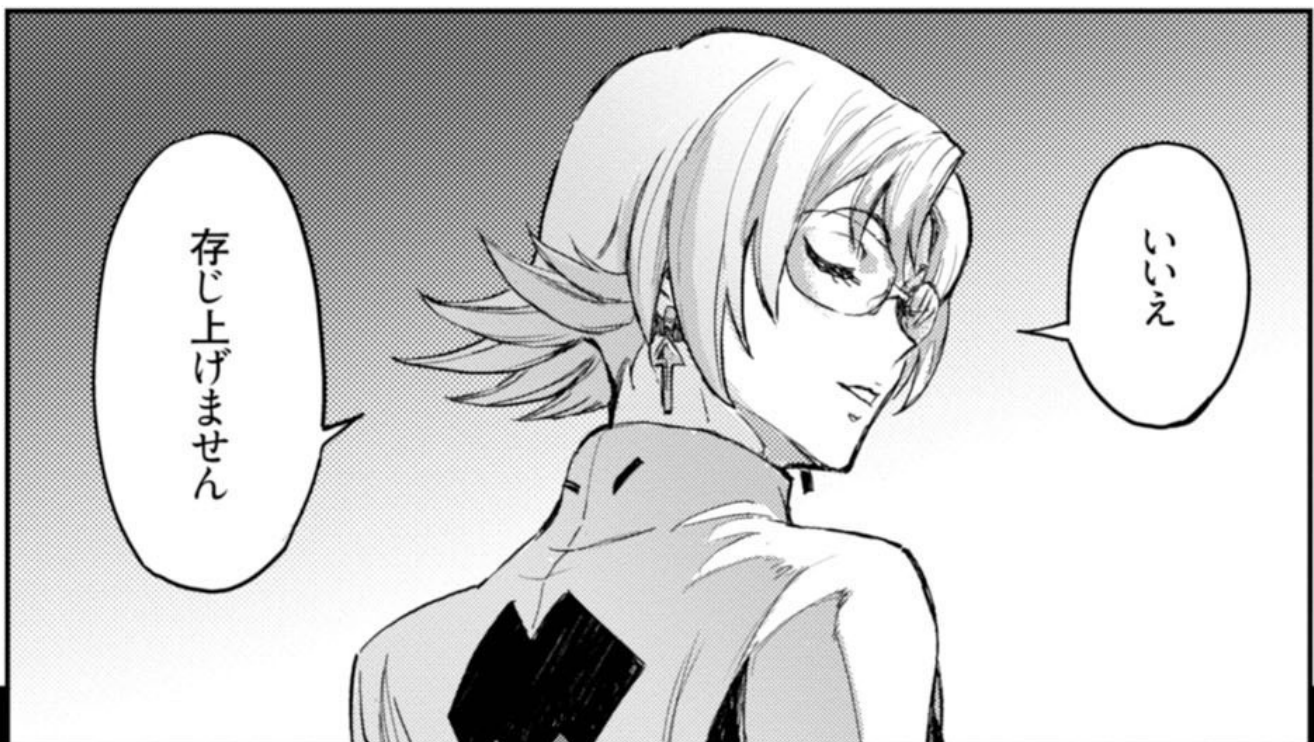
では
失礼しますね



〈次世代ヒト行動特性
記述ワーキンググループ〉
という研究グループを
エーディンさんは
ご存じですか

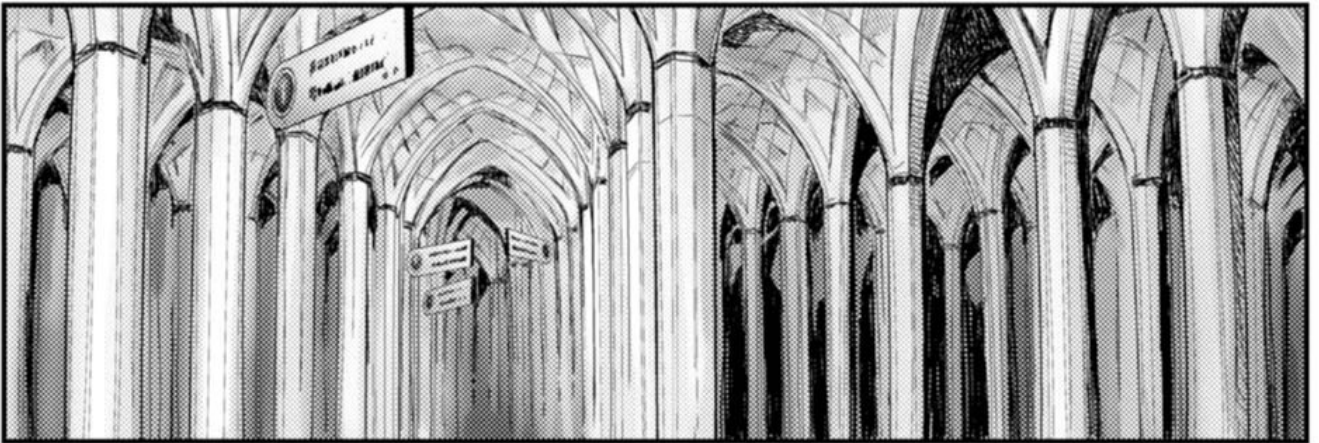
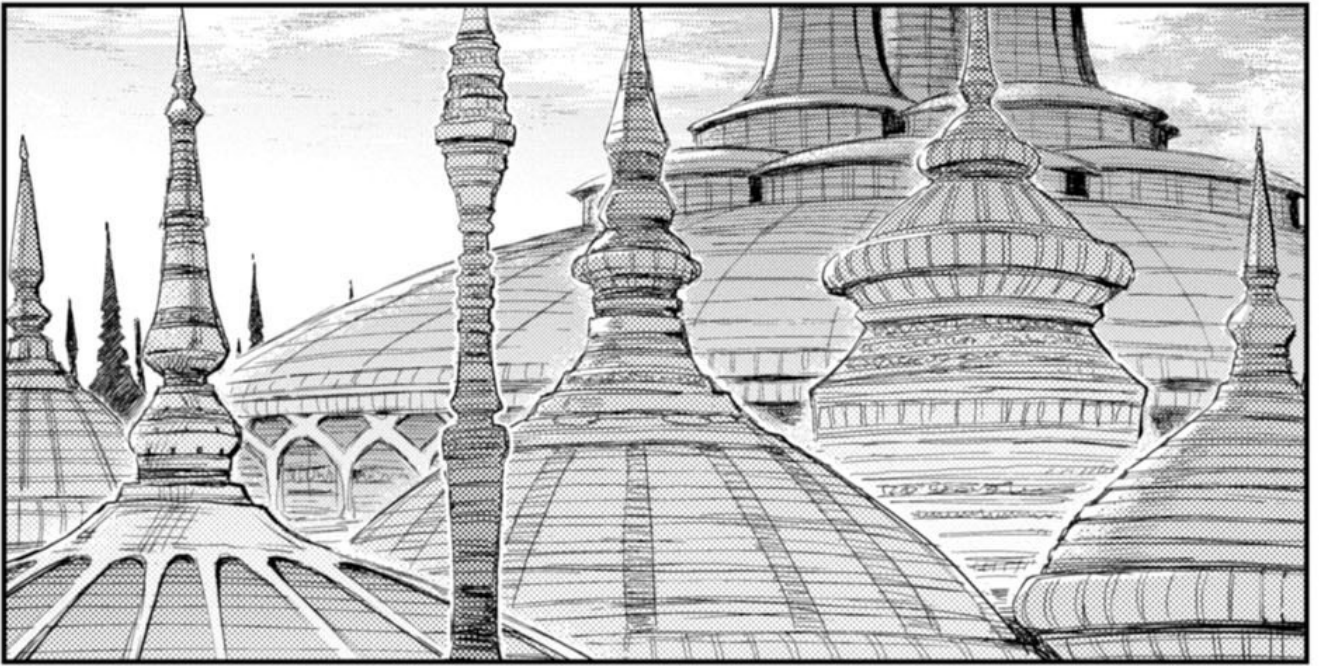


最後にもう一つ



存じ上げません

いいえ



PHONE LINK
Elijah VASHLOV
SEC 001-0010-2
SEC 001-0010-3

霧慧監察官

エーディンは
一味ですよ

SEC 脳医学研究
コンソーシアムは
次世代ヒト行動特性記述
ワーキンググループの
公然組織のひとつです







周辺に捜査が
及ぶことに
よってね

不躰だ
こと

監視下に
あったわけだ



まあ
そうだろう

ミアハの名前を
出さなかったのは
やはり正解だった
……

正当な職務行為
ですので
ご理解を賜ります



事態は切迫している
連中は何らかの行動を
起こすかもしれない

充分に
警戒されたほうが
いいですよ

霧慧監察官



PHONE LINK
CALL ENDED
Elijah VASHLOV
Location not provided

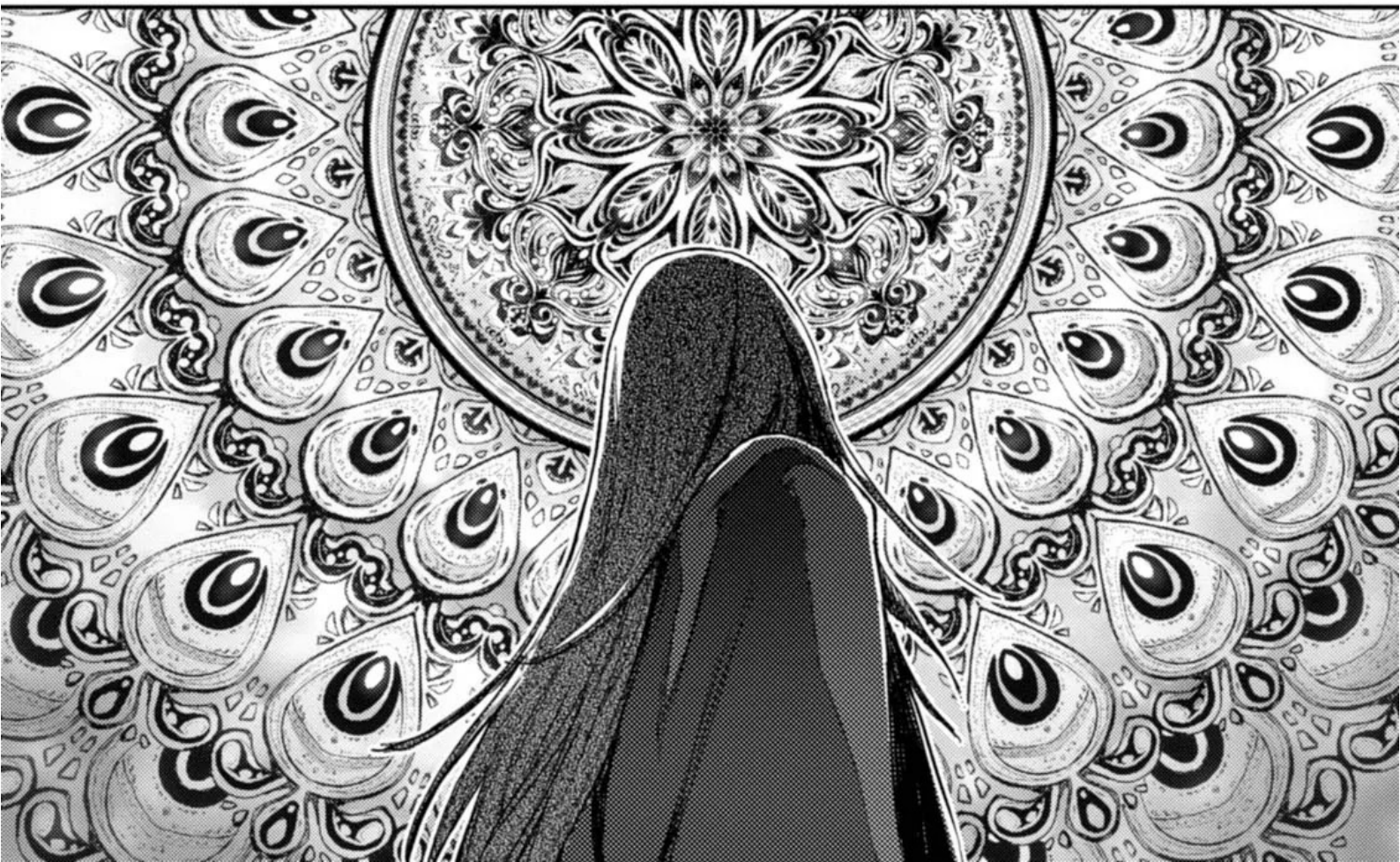
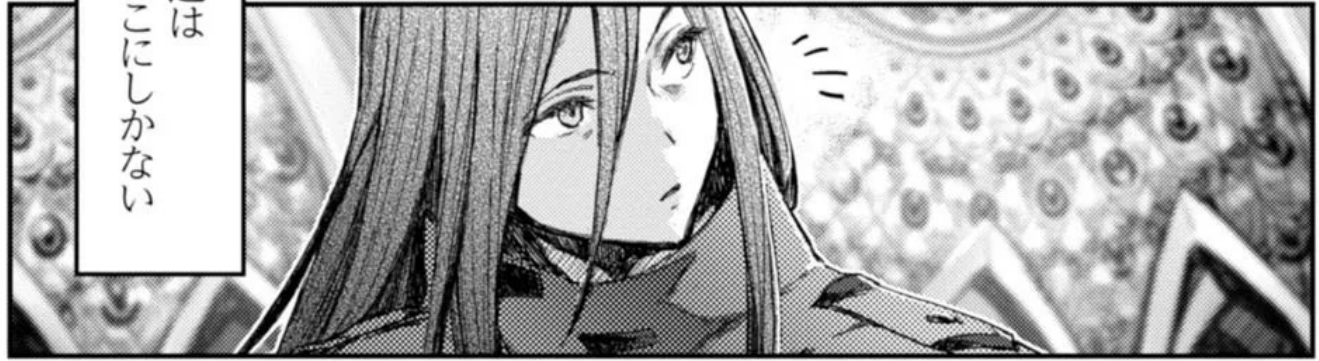
この後
何らかの
リアクションがある

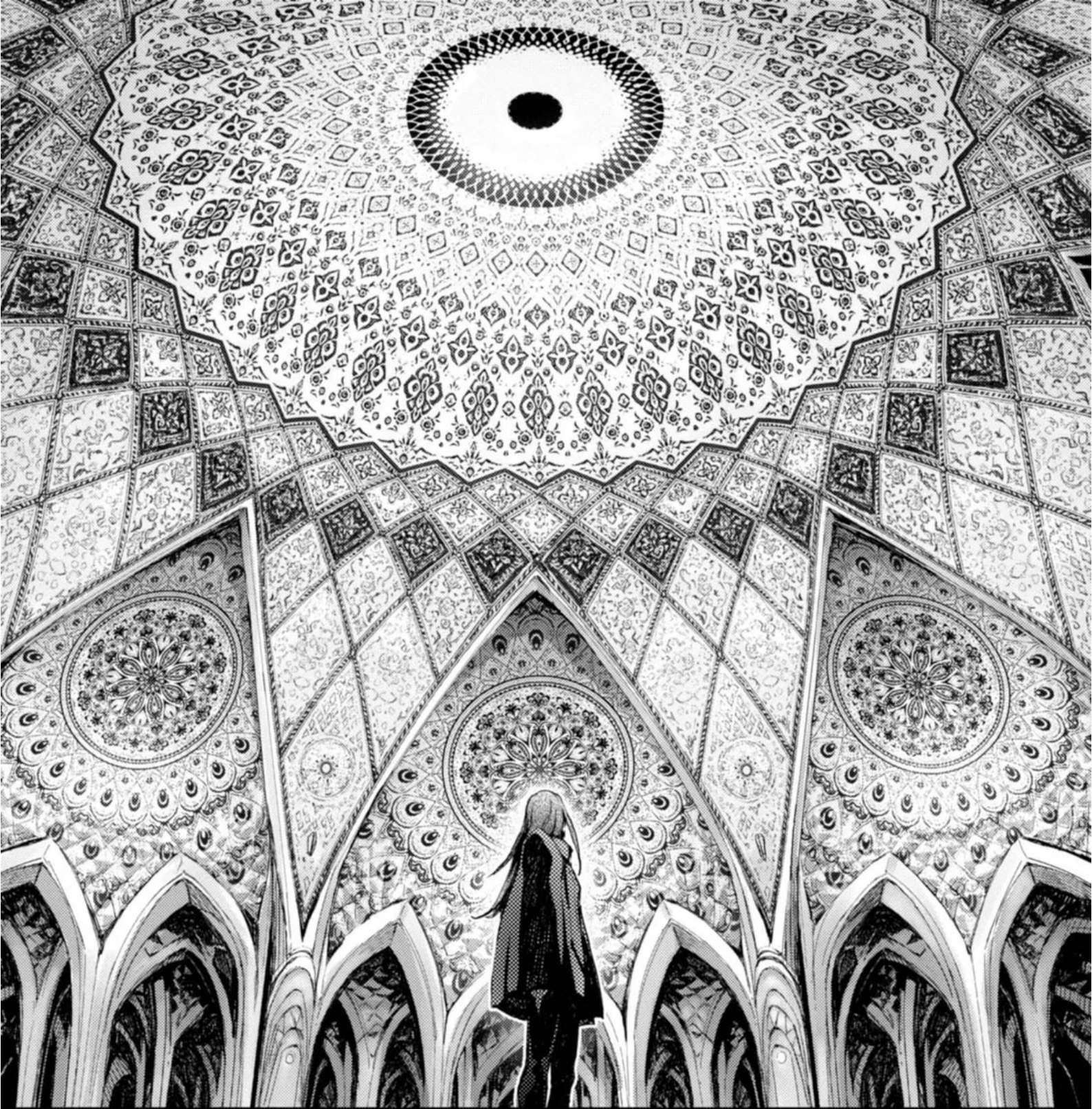
少なくともこの
エリヤ・ヴァシロフは
そのつもりであろう

エーディンから何も
得られないとしたら

それを
待つほかない

道は
ここにしかない





<log:media=Netz360:id=812futk85-56kc0bwt-09>



AKTUELLES

Das System unter Angriff
Wie zuverlässig Rückkehr?

WHO.GENF



世界中で
混乱が
広がっています

Freya EHRlich



</log>

<log:media=ChannelOnce:id=81549txf6-i9i2ccyk-09>



</log>

<log:media=SPN-WorldReport:id=843f0aq0h-t1j2y37j-12>



</log>

<log:media=SBMC-HealthInformation:id=8494ahyf5-1kj7s7wj-11>



</log>

<log:media=OneWorld:id=81549txf6-i9i2ccyk-09>



</log>

<log:media=DongYaBaoyeNewsService:id=843f0aq0h-t1j2y37j-12>



</log>

<log:media=LazoCommunications:id=8494ahyf5-1kj7s7wj-11>



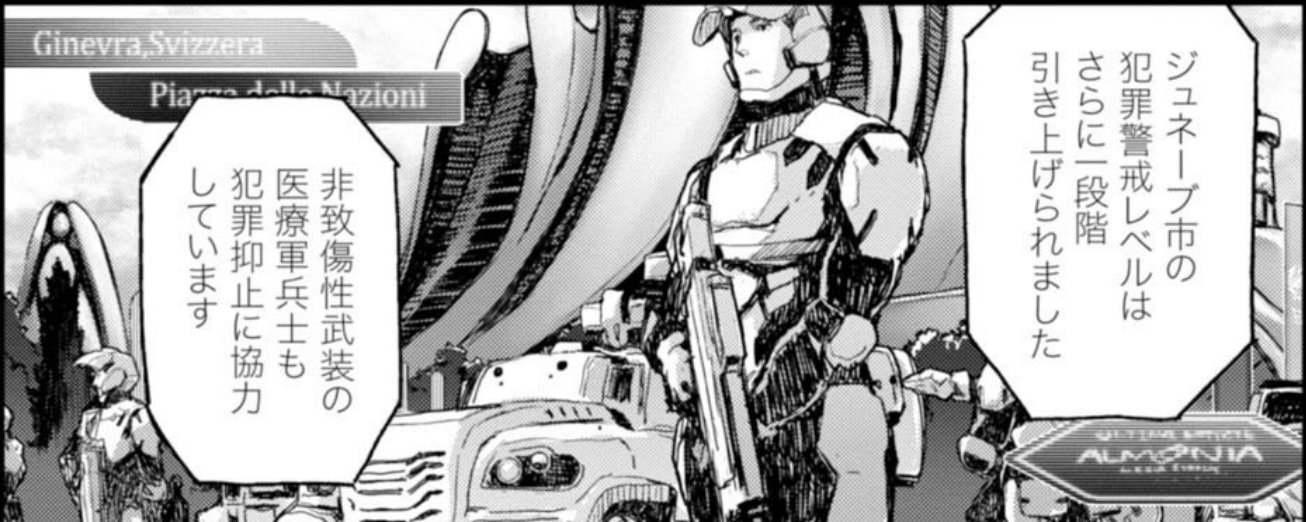
</log>

<log:media=Network24:id=85a07vq80-58kvy94m-14>



</log>

<log:ArmoniaNA:id=85y645jfb-t66kh4zc-04>



</log>

<log:media=NetPacificom:id=860hh2uf9-11tt2jqn-11>



</log>

<log:media=BangaloreGBA:id=86u51fxr6-ir42cprk-03>



</log>

<log:media=DouzemilleActualites:id=86ya9t12a-k18gv359-09>



</log>

角川コミックス・エース

ハーモニー(2)

原作:伊藤計劃／Project Itoh

漫画:三巷文

2017年2月25日 発行

©MINATO FUMI 2017

©Project Itoh/HARMONY

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
角川コミックス・エース『ハーモニー(2)』
2017年2月25日初版発行

発行者 青柳昌行
発行 株式会社KADOKAWA

〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
電 話 0570-002-301 (カスタマーサポート・ナビダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日 祝日 年末年始を除く)
編集企画 コミック&キャラクター局
ニュータイプ編集部
<http://www.kadokawa.co.jp/>

本作品の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信したり、
ホームページ上に転載したりすることを禁止します。
また、本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
本作品購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず
本作品を第三者に譲渡することはできません。
本作品を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に
予告なく変更される場合があります。
本作品の内容は、底本発行時の取材・執筆内容に基づきます。

また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体とは関係がございません。

装幀・デザイン 草野剛